

平成 30 年度 第 2 回
上越市地域公共交通活性化協議会

次 第

日時 平成 30 年 10 月 1 日（月）午後 1 時 30 分から

会場 上越市役所 4 階 401 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協 議 事 項

議案第 1 号 次期上越市総合公共交通計画の策定について

4 報 告 事 項

報告第 1 号 平成 30 年度公共交通利用促進事業の進捗について

報告第 2 号 中郷区乗合タクシーのダイヤ見直しに関する検討状況について

5 そ の 他

6 閉 会

平成 30 年度

第 2 回

上越市地域公共交通活性化協議会
議案書

日 時	平成 30 年 10 月 1 日 (月) 午後 1 時 30 分から
会 場	上越市役所 4 階 401 会議室

次期上越市総合公共交通計画の策定について

1 要旨

次期上越市総合公共交通計画の策定に当たり、平成30年3月に実施した「公共交通に関するアンケート」の単純集計を報告するとともに、今後、詳細な分析の実施において留意すべき事項等について意見をうかがうもの。

2 アンケート調査結果の概要

(1) 属性

- ・20代～60代は運転免許の保有率が90%以上であった。
- ・70代以上の高齢者は運転免許保有率が約64%に減少し、通学で利用する学生とともに、公共交通の利用者層といえる。

(2) 公共交通に対する意識

- ・公共交通はその重要性が広く認知され、一定の必要性が認められる。
- ・しかし、高齢者人口が増加する一方で、バスの利用者は減少傾向にある。

(3) 市民の移動実態

① 主な移動状況

- ・市民の移動は、各区から合併前上越市への移動、人口の比較的多い地域の域内移動が多い。

② 外出手段

- ・市民の移動の大半は自家用車であり、公共交通の利用は約5%であった。
- ・免許のない人の移動手段は送迎が最多であり、通学や通院目的で公共交通を利用する割合が比較的高かった。
- ・70代以上の高齢者においては、自家用車による移動が80%を超えた。
- ・10代は、公共交通による移動が多く、通学に限ると60%を超えている。

(4) 公共交通サービスの満足度、重要度

① 鉄道

- ・全体では、ダイヤ設定、運行本数、乗換負担の軽減等が「優先課題」（重要度：高、満足度：低）に位置付けられた。
- ・70代以上の高齢者においては、全体的に満足度が上がる一方、乗換負担の軽減については、重要度は高いが満足度が低く、「優先課題」に位置付けられた。この傾向は、60代や免許のない人も同様の結果であった。
- ・10代においては、本数、ダイヤについて他の年代よりも優先課題としての位置付けが高い。

② バス

- ・全体、70代以上の高齢者とも、バス停までの距離について重要度、満足度とも高かった一方、便数、ダイヤ設定、乗換負担の軽減、行きたいところへ行ける（ルート設定）、運賃等の満足度が低かった。
- ・通学利用が多い10代は、便数、ダイヤ、運賃、行きたいところへ行ける（ルート設定）について、他の年代よりも優先課題としての位置付けが高い。

(5) バス路線の効率化策に対する認識

- ・「互助による輸送」「デマンド化」は許容度が比較的高かった。
- ・「路線廃止」「減便」「運賃値上げ」「運行日の減」は許容度が比較的低かった。

(6) お得な乗車券の認知度

- ・公共交通のお得な乗車券については、全般的に認知度が低いことが分かった。
- ・特に「おでかけフリー定期券」などは、高齢者向けのサービスだが認知度は高くない。

(7) 本調査結果の活用

本調査結果は、「公共交通に関するアンケート」の基本的な集計を行ったものであり、今後、各地域別の集計など、より詳細な分析を行うとともに、別途実施している地域住民等への聞き取り調査や乗降調査の結果などとあわせ、次期総合公共交通計画に反映させる。

【資料】

- ・「公共交通に関するアンケート」の調査結果について・・・資料1(資料 P.1)

「公共交通に関するアンケート」調査結果の概要

(調査の概要)

- (1) 目的 平成32年度からの次期総合公共交通計画の策定に当たり、市民の公共交通に対する関心度、移動の実態（移動目的、方面、頻度等）、公共交通に対して求めるポイントなどを把握し、検討の参考とするため。
- (2) 調査地域 上越市全域
- (3) 実施期間 平成30年3月15日（木）～3月30日（金）
- (4) 対象者 16歳以上の市民のうち、地区別に無作為抽出
- (5) 実施方法 アンケート調査票を郵送で送付し、回答者は返信用封筒で返送
- (6) 回収状況 配布数 6,228票、回収数 2,745票（回収率44.1%）

1 属性

○20代～60代は運転免許の保有率が90%以上であった。
 ○70代以上の高齢者は運転免許保有率が約64%に減少し、通学で利用する学生とともに、公共交通の利用者層といえる。

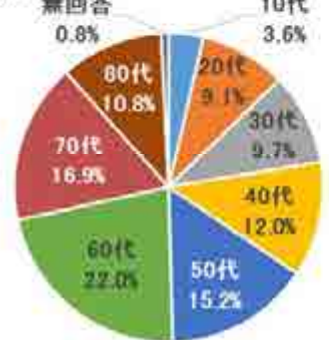
ア 性別



イ 家族構成



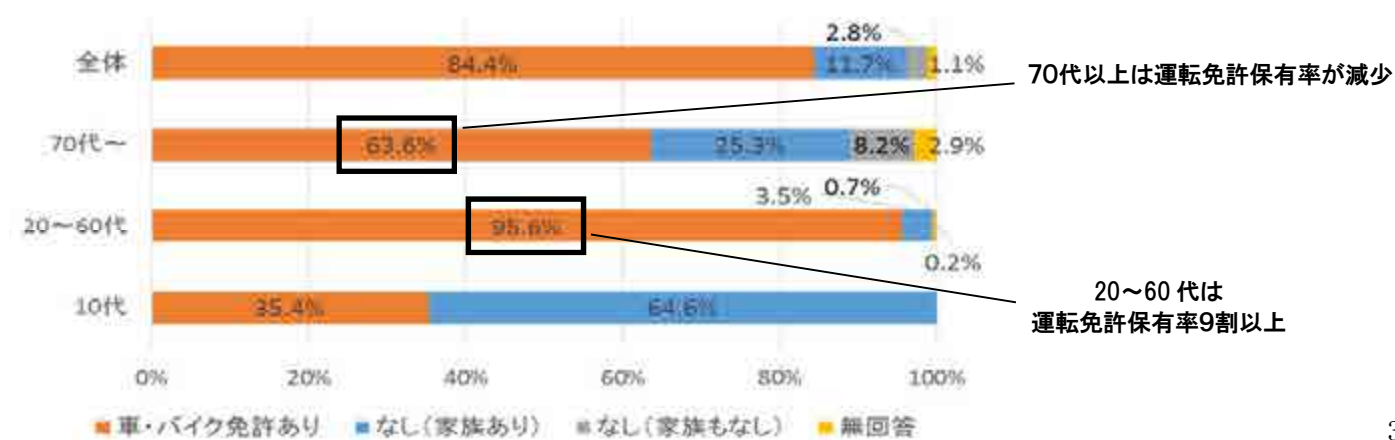
ウ 年齢



エ 職業

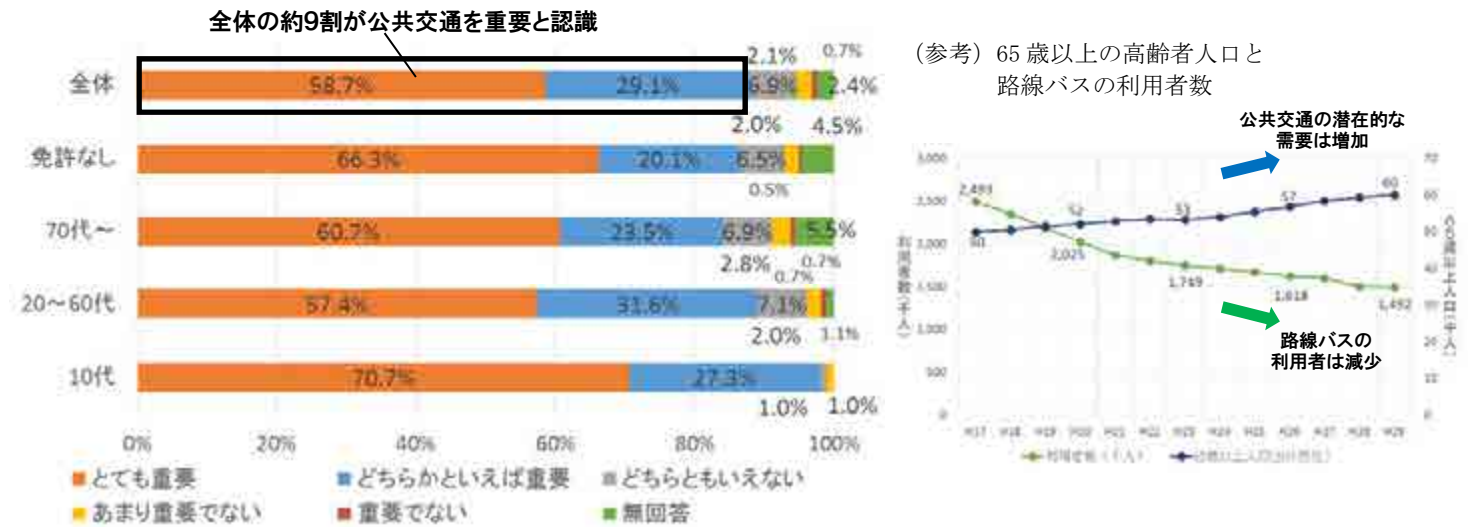


オ 運転免許の有無



2 公共交通に対する意識

○公共交通はその重要性が広く認識され、一定の必要性が認められる。
 ○しかし、高齢者人口が増加する一方で、バスの利用者は減少傾向にある。
 ⇒地域への聞き取り調査等により、公共交通の必要性や、どのように改善すれば公共交通を使うようになるかなどについて、より具体的に把握する必要がある。

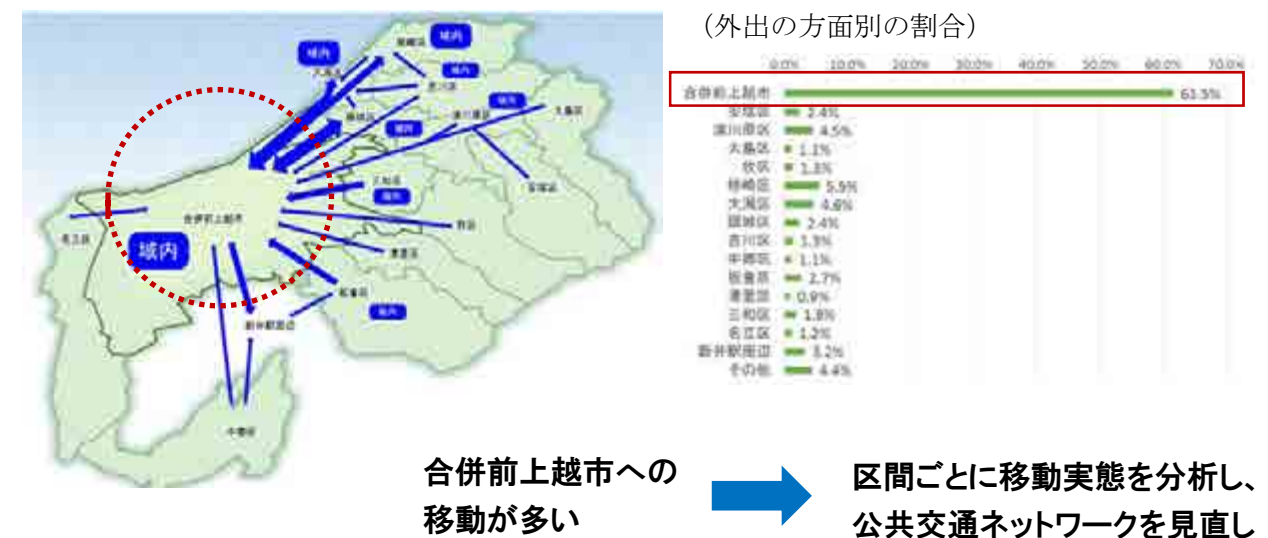


「公共交通の必要性」、「乗ってもらうための改善点」を地域ごとに、より具体的に把握

3 市民の移動実態

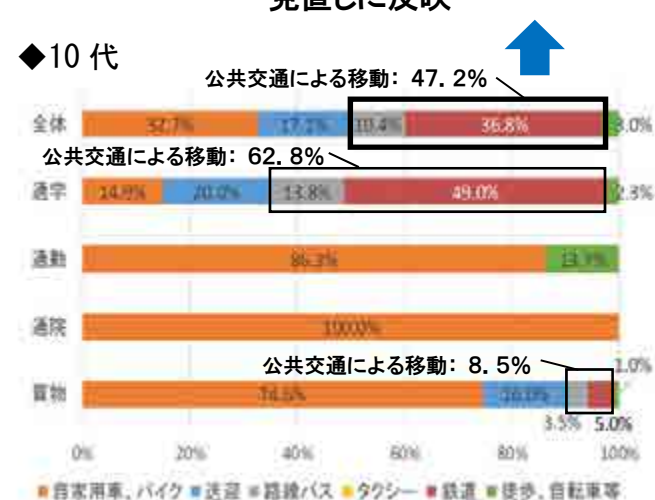
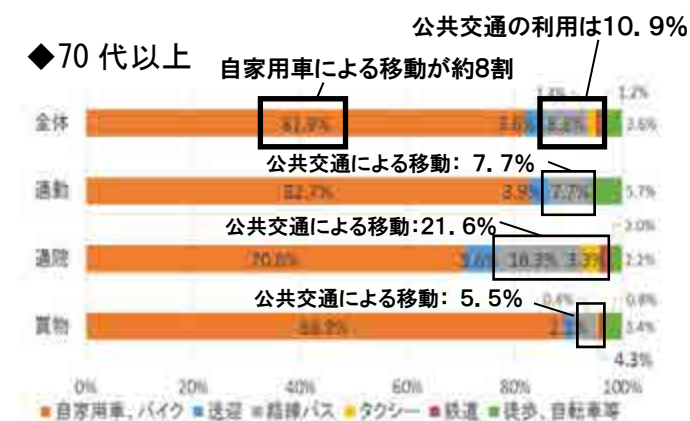
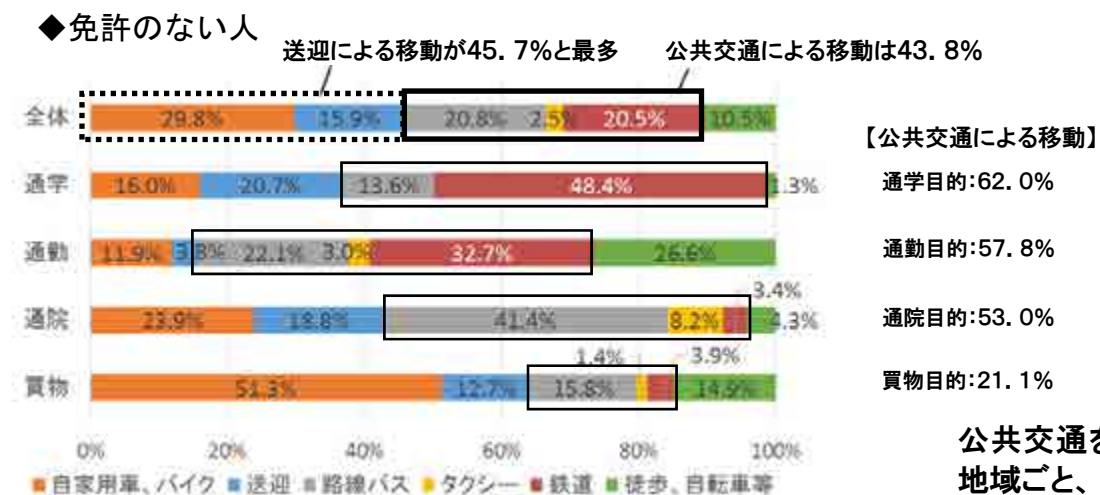
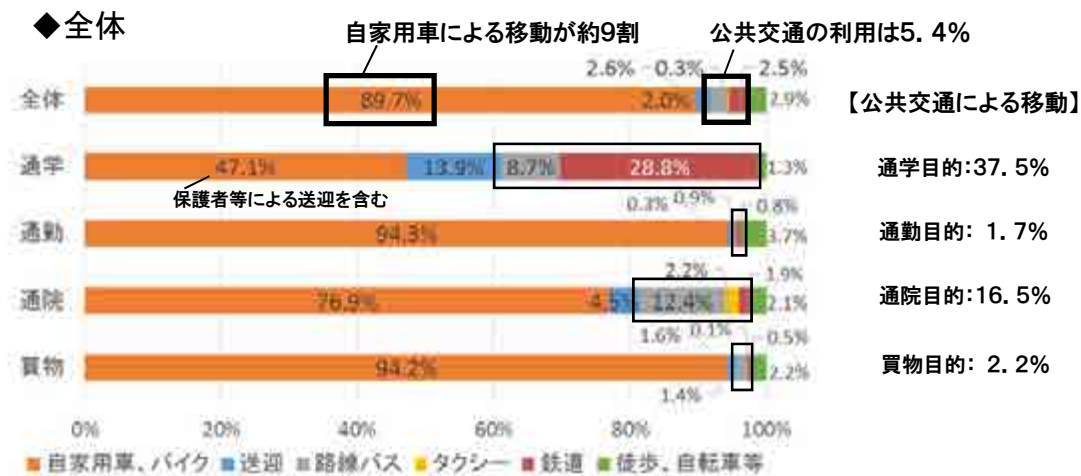
(1) 主な移動状況

○市民の移動は、各区から合併前上越市への移動、人口の比較的多い地域の域内移動が多い。
 ⇒移動実態を区間ごとに分析し、市民の移動目的や移動頻度等を踏まえた公共交通ネットワークを検討する。



(2) 外出手段

○市民の移動の大半は自家用車であり、公共交通の利用は約5%であった。
 ○免許のない人の移動手段は送迎が最多であり、通学や通院目的で公共交通を利用する割合が比較的高かった。
 ○70代以上の高齢者においては、自家用車による移動が80%を超えた。
 ○10代は、公共交通による移動が多く、通学に限ると60%を超えている。
 ⇒地域への聞き取り調査等により、「公共交通は必要か」「どうしたら乗れるようになるか」「目的ごとに具体的にどのようなニーズがあるか」を把握し、見直しに反映する。

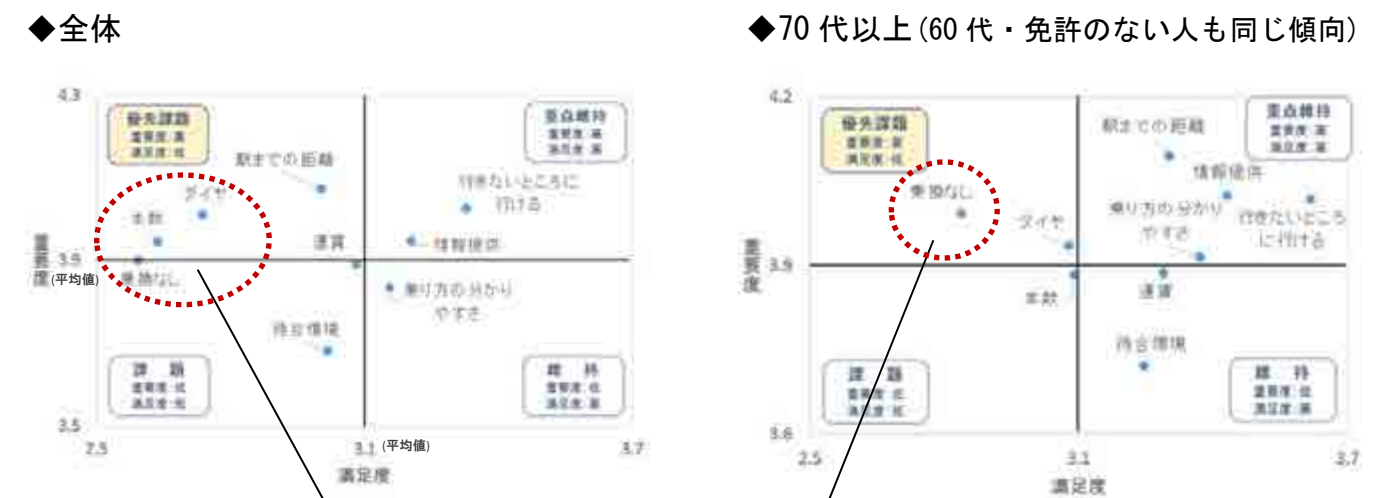


「公共交通の必要性」、「乗ってもらうための改善点」をより具体的に把握

4 公共交通サービスの満足度、重要度

(1) 鉄道

○全体では、ダイヤ設定、運行本数、乗換負担の軽減等が「優先課題」(重要度:高、満足度:低)に位置付けられた。
 ○70代以上の高齢者においては、全体的に満足度が上がる一方、乗換負担の軽減については、重要度は高いが満足度が低く、「優先課題」に位置付けられた。この傾向は、60代や免許のない人も同様の結果であった。
 ○10代においては、本数、ダイヤについて他の年代よりも優先課題としての位置付けが高い。
 ⇒調査結果を参考とするほか、地域ごとに具体的なニーズを把握し、鉄道会社へ要請する。



「優先課題」(重要度:高、満足度:低)

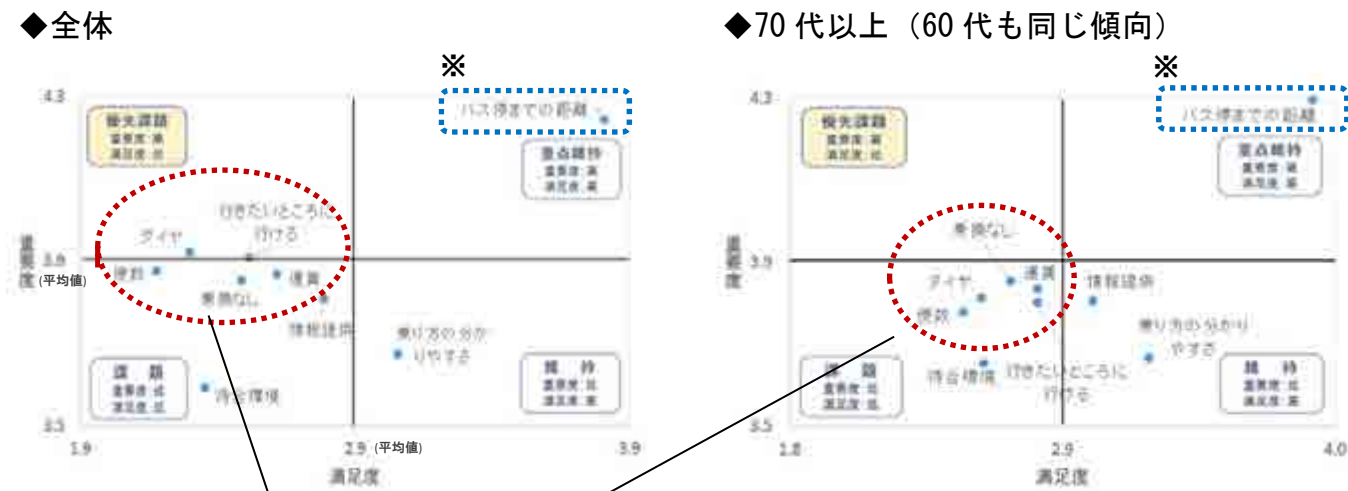
サービス見直しのポイントとして参考とし、
 地域ごとに、より具体的なニーズを把握し、鉄道会社へ要請

「優先課題」(重要度:高、満足度:低)

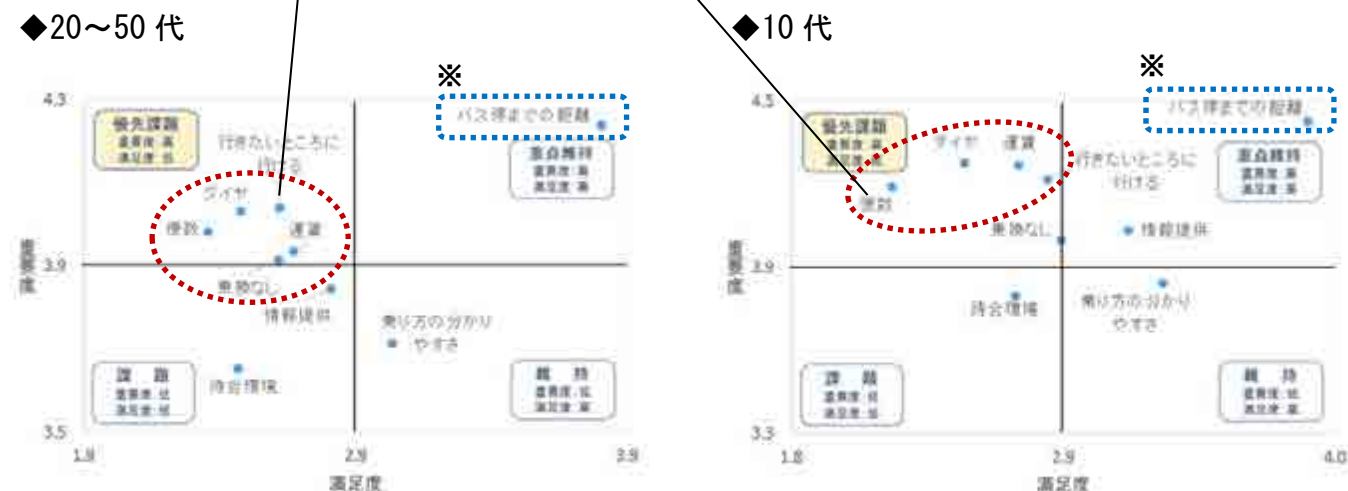
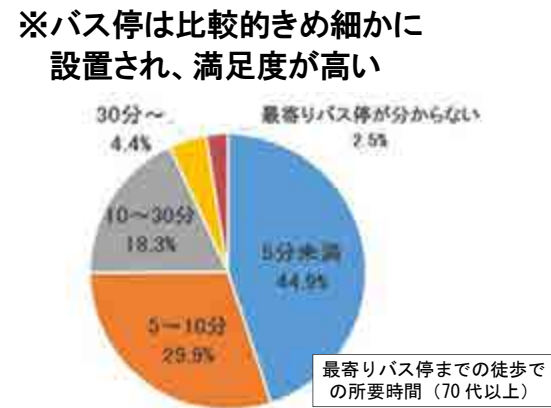


(2) バス

○全体、70代以上の高齢者とも、バス停までの距離について重要度、満足度とも高かった一方、便数、ダイヤ設定、乗換負担の軽減、行きたいところへ行ける（ルート設定）、運賃等の満足度が低かった。
 ○通学利用が多い10代は、便数、ダイヤ、運賃、行きたいところへ行ける（ルート設定）について、他の年代よりも優先課題としての位置付けが高い。
 ⇒調査結果を参考とするほか、地域ごとに具体的なニーズを把握し、見直しに反映する。

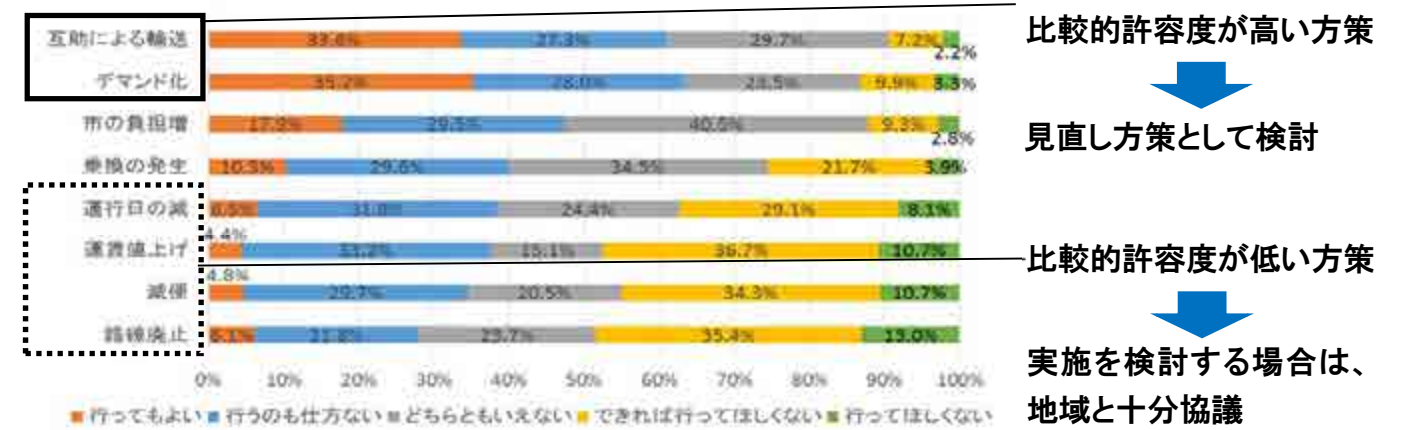


満足度が低い項目
 ↓
 路線見直しのポイントの参考とし、
 地域ごとに、より具体的なニーズを把握の上、見直しに反映



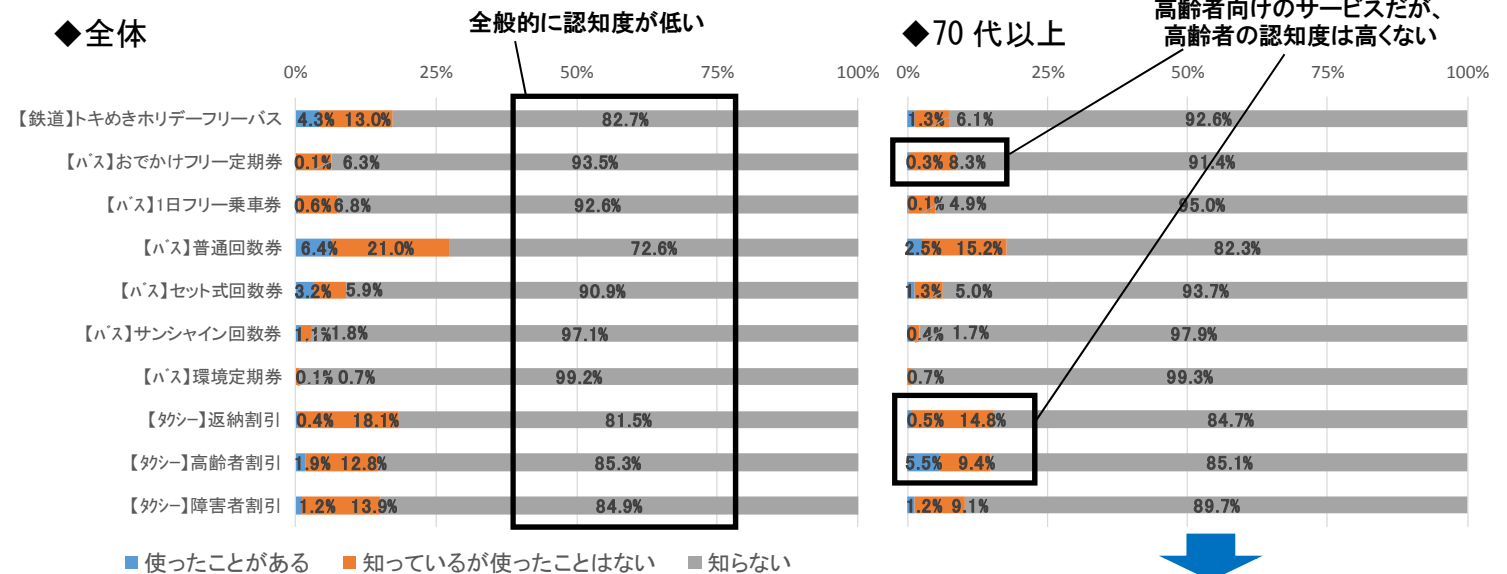
5 バス路線の効率化策に対する認識

○「互助による輸送」「デマンド化」は許容度が比較的高かった。
 ○「路線廃止」「減便」「運賃値上げ」「運行日の減」は許容度が比較的低かった。
 ⇒効率化のための方策として、「互助による輸送」や「デマンド化」等の許容度の高い方策の検討を進めるとともに、「減便」や「運行日の減」等の許容度の低い方策を検討する場合は、地域との十分な協議が必要である。
 ⇒地域ごとに傾向を分析し、新たな運行形態の検討、運行の見直し等に反映させる。



6 お得な乗車券の認知度

○公共交通のお得な乗車券については、全般的に認知度が低いことが分かった。
 ○特に「おでかけフリー定期券」などは、高齢者向けのサービスだが認知度は高くない。
 ⇒より利用者のニーズに合った乗車券や、効果的な周知方法など、「乗ってもらえる公共交通」のために効果的な利用促進策について、事業者とともに検討する。



効果的な利用促進策を事業者とともに検討

7 本調査結果の活用

本調査結果は、「公共交通に関するアンケート」の基本的な集計を行ったものであり、今後、各地域別の集計など、より詳細な分析を行うとともに、別途実施している地域住民等への聞き取り調査や乗降調査の結果などとあわせ、次期総合公共交通計画に反映させる。

平成30年度公共交通利用促進事業の進捗について

1 要 旨

平成30年度事業計画に基づく利用促進事業の進捗状況について報告するもの。

2 進捗状況





実施時期	事業名	進捗状況	備考
7月27日～ 8月31日	夏休み小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーン	完了	市共催
9月15日	バスの日フェスタ2018～働く車大集合！～	完了	協議会 後援
9月15日～	小学生を対象とした公共交通啓発資料の配布	実施中	
9月末	高齢者を対象とした公共交通啓発資料の配布	完了	
12月	降雪期前の通学・通勤者へ配布する公共交通啓発資料の配布		
2月	高校等新入生を対象とした公共交通啓発資料の配布		
3月	上越市内公共交通利用ガイドの配布	作製中	
随時	各区で取り組む利用促進事業	実施中	

3 実施結果

○ 夏休み小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーン

事業概要	小・中・高校生にバスに慣れ親しむ機会を提供することで、夏休み期間中のバス利用促進及び将来のバス利用促進につなげる。				
実施期間	平成 30 年 7 月 27 日（金）～平成 30 年 8 月 31 日（金）				
対象路線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頸城自動車及びそのグループ会社が運行する路線バス ・ 安塚区、大島区、牧区、頸城区、名立区を運行する市営バス ・ 中郷区を運行する乗合タクシー（今年度から対象路線に追加） 				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生以下：1 乗車 50 円（市営バスは、未就学児無料） ・ 中・高校生：1 乗車 100 円 				
利用実績	利用者数（人）		H29	H30	昨年比
	頸城自動車グループ 路線バス	小学生	629	675	107%
		中・高校生	4,346	5,153	119%
		合計①	4,975	5,828	117%
	市営バス	小学生	43	31	72%
		中・高校生	123	100	81%
		合計②	166	131	79%
	乗合タクシー	小学生	-	0	-
		中・高校生	-	3	-
		合計③	-	3	-
①+②+③合計		5,141	5,962	116%	
所 感	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水族博物館うみがたり最寄り停留所「イトーヨーカドー前」での乗降が多く見られたことから、水族博物館うみがたりの開業による影響があったと考えられる。 ・ 市営バスは、全体的に減少傾向であった。特に、名立区を運行する東飛山線を利用した中・高校生が、昨年の 95 人から 70 人に大きく減少しており、東飛山線沿線に住む中・高校生の人数が減少したことが理由の一つとして推測される。 				
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頸城自動車及びグループ会社では、夏休み「バス乗車体験」キャンペーン期間中の利用が多く、一定の効果があったことから、9 月 16 日（日）から 11 月 25 日（日）までの土・日・祝日に、頸城自動車及びグループ会社が運行する路線バスを 1 乗車小学生以下 50 円、中・高校生 100 円で利用できる、秋の小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーンを実施している。 				

○ バスの日フェスタ 2018～働く車大集合！～

事業概要	市民がバスに慣れ親しむ機会を提供し、将来のバス利用につなげることを目的に開催。
日時	平成 30 年 9 月 15 日（土）午前 10 時～午後 3 時
会場	イトーヨーカドー直江津店、エルマール専門店街
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・園児による合唱披露…中央保育園の園児（19 人）による合唱 ・バスのぬり絵…バスの乗り方やマナーを学ぶぬり絵 ・バスの絵展示…市内 8 保育園の園児（132 人）のバスの絵を展示 ・交通安全教室、バスの乗り方教室 ・スタンプラリー…「働く車の展示」「お絵かきバス」「バスのぬり絵」に参加し、スタンプを集めてお菓子のつかみ取りに挑戦 ・働く車の展示…路線バス、消防車、パトカー、白バイ、活魚輸送車の展示（活魚輸送車以外は運転席での記念撮影） ・お絵かきバス…路線バス車両へのぬり絵（お絵かきバス車両は、9 月 20 日（木）から運行） ・楽しく学べる防災プログラム…防災について、ジャッキアップを使った救助方法やカードゲーム等を通じて防災知識を楽しく学んだ ・ワンコインバス乗車体験キャンペーン…市内路線バス及び市営バスが 1 乗車 100 円（こども 50 円） 利用者数：1,250 人（H29：1,210 人）
当日の様子	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center; margin: 5px;"> <p>交通安全教室</p>  </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;"> <p>バスの乗り方教室</p>  </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;"> <p>お絵かきバス</p>  </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;"> <p>防災プログラム</p>  </div> </div>
来場実績	来場者数：約 1,800 人（H29 は約 2,000 人）
所感	小雨が降っていたため、昨年より来場者数が減少したが、多くの家族連れから参加いただき、バスに対する理解を深めることができた。

○ 小学生を対象とした公共交通啓発資料の配布

事業概要	バスの日フェスタ等小学生が集まるイベントに合わせて、バスの乗り方やマナー、家族でのお出かけにぴったりのお得情報を掲載したチラシを配布する。
作成部数	1,000部
作成費	42,660円
配布先	・9月15日：バスの日フェスタでのバスの乗り方教室参加者 ※市内小学校やバスの日フェスタでバスの絵の展示に協力いただいた保育園5歳児クラスへの配布、バスの乗り方教室や働く車の展示など各種イベントで配布予定

【資料】

- ・バスの乗り方やマナーを身に付けて休日はバスで旅に出かけませんか！
・・・・・・・・資料 2-1(資料 P. 31)

○ 高齢者を対象とした公共交通啓発資料の配布

事業概要	公共交通のお得な情報をより詳しく記載したリーフレットを作成し、免許返納の際に市民安全課が配っているリーフレットと併せて配布したり、高齢者が車で行くことが想定される病院・診療所や趣味の活動施設等で配布したりすることにより、免許返納者や高齢者に公共交通の利用促進を促す。
作成部数	2,000部
作成費	86,400円
配布日	9月下旬
配布先	免許返納者や病院・診療所、高齢者が集まる施設

【資料】

- ・“得”公共交通！・・・・・・・・・・・・・・・・資料 2-2(資料 P. 33)

○ 上越市内公共交通利用ガイドの配布

事業概要	鉄道と路線バスのダイヤ改正に合わせて、時刻表と路線図等を掲載した「上越市内公共交通利用ガイド」を全戸配布。
主な仕様	品 名：上越市内公共交通利用ガイド 大 き さ：A4 判冊子 ページ数：124 ページ（本文 120 ページ、表紙 4 ページ） 構 成：路線図 42 ページ、時刻表 37 ページ、公共交通情報 8 ページ、施設情報 13 ページ、医療ガイド 8 ページ、地域情報 16 ページ、その他（目次等） 6 ページ
作成部数	95,500 部
予 算	作 製 費： 0 円（委託業者が得る広告収入で負担する） 郵 送 費：159,062 円 消耗品費： 11,140 円
配 布 日	平成 31 年 3 月 15 日（広報上越 3 月 15 日号に合わせて配布予定） ※鉄道のダイヤ改正が 3 月 14 日以前の場合、広報上越 3 月 1 日号に合わせて配布予定
配 布 先	市内全世帯、公共交通事業者、公共施設等
備 考	昨年度発行したガイド冊子の仕様等は以下のとおり。 ・品 名：上越市内公共交通利用ガイド ・大 き さ：A4 判冊子 ・ページ数：48 ページ ・構 成：目次 1 ページ、路線図 10 ページ、時刻表 37 ページ ・作成部数：86,000 部 ・事 業 費：2,138,400 円（うち事業者負担金 462,600 円） ・配布時期：平成 30 年 3 月 15 日 ・配 布 先：市内全世帯、公共交通事業者、公共施設等

【資料】

- ・上越市内公共交通利用ガイド作製イメージ・・・・・・・・・・資料 2-3(資料 P. 37)

○ 各区で取り組む利用促進事業



利用促進策	施設と連携した割引サービス
事業概要	区の公共施設等と連携し、路線バスで来場する人に対して施設で利用できる割引券を配布することで、バス利用促進を図る。
対象施設	<p>○ <u>深山荘（牧区、昨年度から継続して実施）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：深山荘までバスを利用した人にスタンプを押印し、5個ためると深山荘で使用できる1,000円の商品券を進呈 ・実施期間：平成30年4月1日～平成30年11月30日 <p>○ <u>ろばた館（名立区、昨年度から継続して実施）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：市営バスを利用してろばた館へ来館し、5回入浴すると次回の入浴料が無料 ・実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日 <p>○ <u>鵜の浜人魚館（大湊区、今年度から新たに実施）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：鵜の浜人魚館に上越大通り線または浜線を利用して来館された方に鵜の浜人魚館の食事処「海風」で利用できるドリンク1杯無料券を進呈 ・実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日
備 考	やすらぎ荘（板倉区）は平成29年度末で割引サービス終了（実施内容：やすらぎ荘のドリンク1杯無料券を板倉区内路線バス車内で配布）
利用促進策	公共交通の利用PR
事業概要	総合事務所だよりやチラシ、各種会議での呼びかけを通じて、バスの利用を促す。
実 施 日	6月～8月
実施内容	<p>○ <u>夏休み小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーンのPR</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知先：総合事務所だより（牧区、清里区、三和区） 小中学校生徒（吉川区、中郷区、板倉区、名立区） 小中学校PTA（安塚区、大島区、牧区、合併前上越市） 保育園保護者会（柿崎区） 校長会（牧区） 町内会（大湊区、頸城区） 子供会（浦川原区） ・実施日：6月～8月 <p>○ <u>各種会議等での呼びかけ（牧区）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知先：総合健診、教育関係者の懇談会 ・実施日：5月～6月 <p>○ <u>総合事務所職員への呼びかけ（頸城区）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知先：総合事務所職員及びその家族 ・実施日：6月

利用促進策	敬老の日におじいちゃんおばあちゃんとバスに乗ろう	
事業概要	園児が描いたおじいちゃんおばあちゃんの似顔絵をバス車内に掲示することにより、バスを利用する機会を提供し、バスの利用促進を図る。	
実施内容	<p>○ 真行寺幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象路線：上越大通り線ほか9路線 ・実施期間：平成30年9月15日～平成30年9月30日 <p>○ うらがわら保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象路線：直江津・浦川原線 ・実施期間：平成30年9月15日～平成30年9月30日 <p>○ 南川保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象路線：南川線 ・実施期間：平成30年9月11日～平成30年9月30日 <p>○ いたくら保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象路線：島田線、新井・板倉線、菰立線、上関田線、山寺薬師線、三針（清里）線 ・実施期間：平成30年9月1日～平成30年9月30日 <p>○ さんわ保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象路線：水科・今保線、真砂・岡田線、高田・浦川原線 ・実施期間：平成30年9月3日～平成30年9月21日 <p>※ 10月1日から31日まで、三和コミュニティプラザで似顔絵を展示</p>	
実施状況	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>掲示状況</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>	掲示状況
掲示状況		
所感	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車内の似顔絵を眺める乗客が多くいた。 ・似顔絵を見るためにバスに乗った家族も見られた。 	

・柿崎区

利用促進策	「地域の交通を考える会」と連携した公共交通のPR
事業概要	柿崎区地域協議会の部会「地域の交通を考える会」の取組について、総合事務所だより等を通じて周知し、公共交通の利用を促した。
実施内容	<p>○ 市内探索バスツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：バス1日フリー乗車券を利用して柿崎区や吉川区を巡る「市内探索バスツアー」を実施 ・実施時期：6月（参加者7人） <p>※今後もお得な乗車券を活用したモデルコースを検討し、ツアーを実施する。</p>

・中郷区

利用促進策	お買い物ツアー
事業概要	区内の団体が、高齢者を対象にした買い物ツアーを実施。
実施内容	<p>○ 西部地区高齢者支援お楽しみ買い物ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主 催：岡沢老人クラブ松寿会 ・対 象：岡沢地区及び福田地区の高齢者 ・実施日：5月～11月（9回開催、参加者108人） <p>○ お買い物ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主 催：特定非営利活動法人中郷区まちづくり振興会 ・対 象：70歳以上で車を運転しない人 ・実施日：7月、9月、12月、3月（1回開催、参加者15人）
利用促進策	運行ダイヤ表ポケット版
事業概要	携帯に便利なポケット版(A5サイズ)ダイヤ表を区内施設へ設置。
実 施 日	6月
作成部数	200部
内 容	<p>表面</p>  <p>裏面</p> 

・板倉区

利用促進策	バス待合所の環境整備
事業概要	「板倉コミュニティプラザ前」待合所（ふれあいサロン）を居心地よく利用できるように、季節の花の鉢植えを設置。
実 施 日	4月～
利用促進策	デマンド予約の代行と待合環境の整備
事業概要	デマンドバスの利用しやすい環境を整備するため、総合事務所が商店街にデマンドバスの予約代行と待合時場所の提供について協力を依頼した。
実 施 日	4月～（平成30年3月15日から開始）
協力店舗	<ul style="list-style-type: none"> ・新井信用金庫 板倉支店 ・一般財団法人ゑしんの里観光公社いたくら亭 ・えちご上越農業協同組合 板倉支店 ・かどや酒店 ・合資会社小林堂商店 ・有限会社シオジマ ・新山屋 ・セブンイレブン上越板倉店（デマンド予約のみ協力）

- ・株式会社第四銀行 板倉支店
- ・ヒグチ靴カバン店
- ・ファンシーショップアミー
- ・ふるさわ時計店
- ・合資会社増屋商店
- ・宮下商店
- ・理容みなみ

チラシ



1枚目表面に「デマンドバス予約・待合協力店」の情報を掲載
 ※1枚目裏面及び2枚目は、区内バス時刻表を掲載

利用促進策

夏休み公共交通利用促進チラシの配布

事業概要

上越科学館へ行く際に公共交通を利用してもらえるよう、夏休み「バス乗車体験」キャンペーンの情報や上越科学館までの路程を掲載したチラシを、板倉区内の小・中学生に配布。

実施日

7月

作成部数

590部

チラシ

<p>表面</p>	<p>裏面</p>
-----------	-----------

・清里区

利用促進策	バスに乗って「きよさと朝市」	
事業概要	きよさと朝市までバスを利用した人に、ポイントカードのスタンプを1つ贈呈。	
実施日	7月～	
チラシ	表面	裏面



・名立区

利用促進策	名五美ちゃんで名立区を元気に！事業～なごみちゃん de アート～
事業概要	宝田小学校 PTA が、地域活動支援事業を活用し、宝田小学校と協力して区内 7 か所の待合所を装飾する。また、装飾した待合所をお披露目する機会として「なごみちゃんバス停スタンプラリー」の実施を 11 月に予定。
実施日	7月～

中郷区乗合タクシーのダイヤ見直しに関する検討状況について

1 要旨

中郷区及び妙高市を運行する乗合タクシー「関山ルート」について、見直しの進捗状況を報告するもの。

2 見直しの内容

- 平成30年10月22日(月)から、関山ルートの最終便(新井地区17:20発)の運行を取りやめる。

■関山ルートの運行ダイヤ

関山→新井		新井→関山	
No.	発時間	No.	発時間
1	定時 6:52	1	9:25
2	8:25	2	12:05
3	13:00	3	15:20
4	16:10	4	17:20

←今回運行を取りやめる便

3 見直しの理由

関山ルートの最終便(17:20 新井発関山行)については、冬期間の中郷中学校の生徒のスクール利用を除き、月に2,3回程度の利用にあり、他の便と比較しても稼働率が極端に低いこと、運行事業者から運転士の確保が困難であるとの申し出があったことなどにより、最終便の利用促進PRを行うとともに、ダイヤ見直しに向けたニーズ調査を行うなど、稼働率アップや便数維持に向けた取組を行ってきたところであるが、当該路線における新規需要が見込めないこと、最終便の定期利用者から減便についての了解が得られたことから、関山方面行きを4便から3便に減便する。

なお、減便に伴う中郷中学校の生徒への対応については、市がスクールバスを運行することで補完する。

■最終便の利用状況 (H29年度)



4 今後の予定

- ・現在、妙高市において、地域内フィーダー系統確保維持計画の変更手続を実施しているところであり、今後、妙高市地域公共交通協議会において書面協議を行う。
- ・協議が整った後、道路運送法上の手続を経て、10月22日(月)から最終便の運行を取りやめる。
- ・最終便の運行取りやめについては、乗合タクシーの利用者に対し、口頭で説明するとともに、チラシによる周知を行うほか、広報上越とあわせて中郷区の住民向けに周知チラシを全戸配布する。
- ・中郷区公共交通懇話会委員へは、書面で報告を行う。

【資料】

- ・周知チラシ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3(資料 P.51)

資料

(平成 30 年度 第 2 回上越市地域公共交通活性化協議会)

「公共交通に関するアンケート」の調査結果について

1 アンケート調査の概要

(1) 目的

平成32年度からの次期総合公共交通計画の策定に当たり、市民の公共交通に対する関心度、移動の実態（移動目的、方面、頻度等）、公共交通に対して求めるポイントなどを把握し、検討の参考とするため。

(2) 調査地域

上越市全域

(3) 実施期間

平成30年3月15日（木）～3月30日（金）

(4) 対象者

16歳以上の市民のうち、地区別は無作為抽出

(5) 実施方法

アンケート調査票を郵送で送付し、回答者は返信用封筒で返送

(6) 回収状況

配布数 6,228票

回収数 2,745票（回収率44.1%）

2 調査結果

(1) 問1：属性

①調査の趣旨

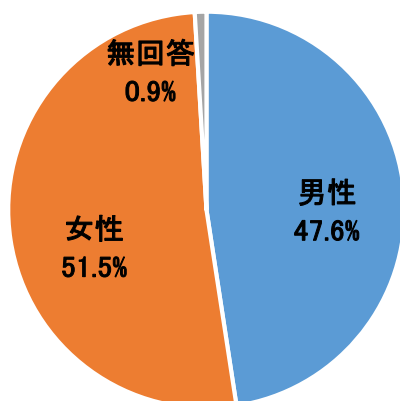
アンケート結果の分析に当たっての参考とするほか、運転免許の有無や自動車・バイクの保有状況を把握する。

②調査事項

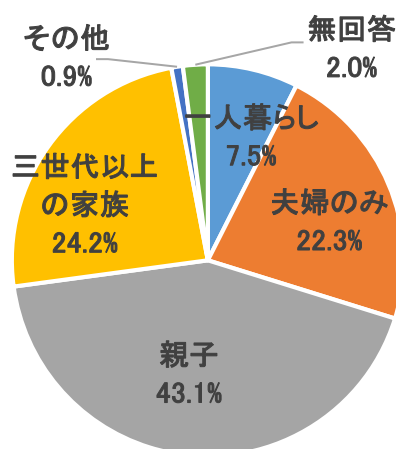
回答者の性別、年齢、運転免許の有無等の属性

③調査結果

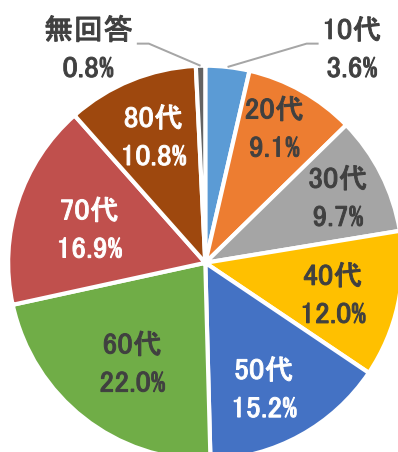
ア 性別



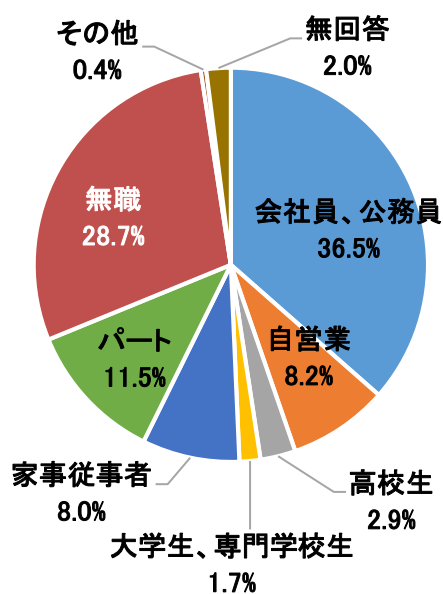
イ 家族構成



ウ 年齢

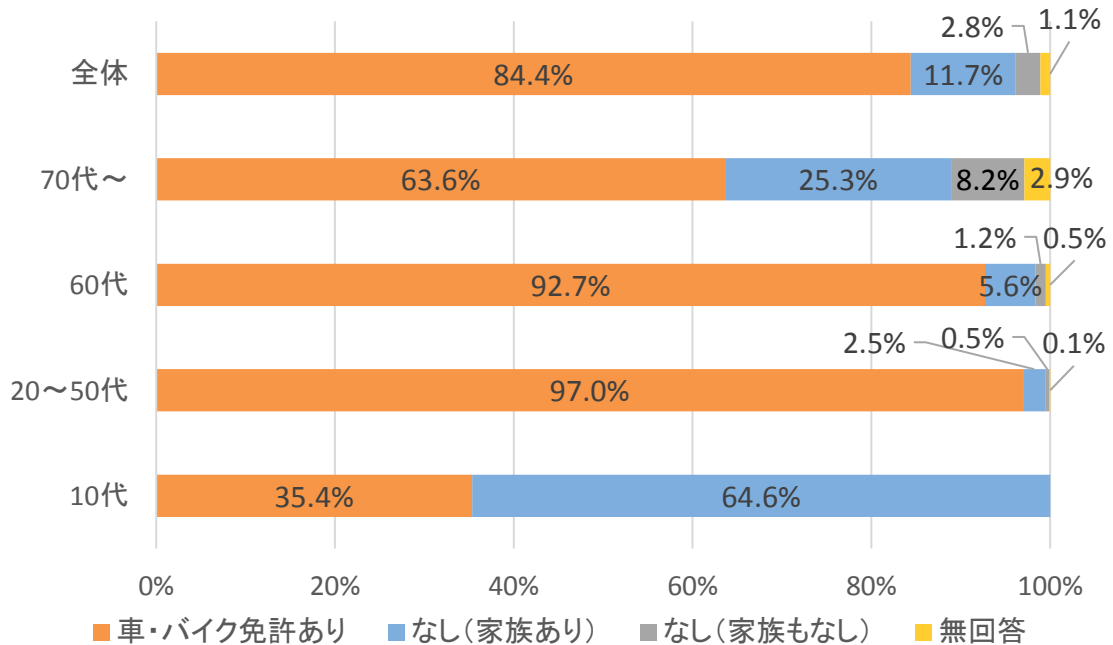


エ 職業



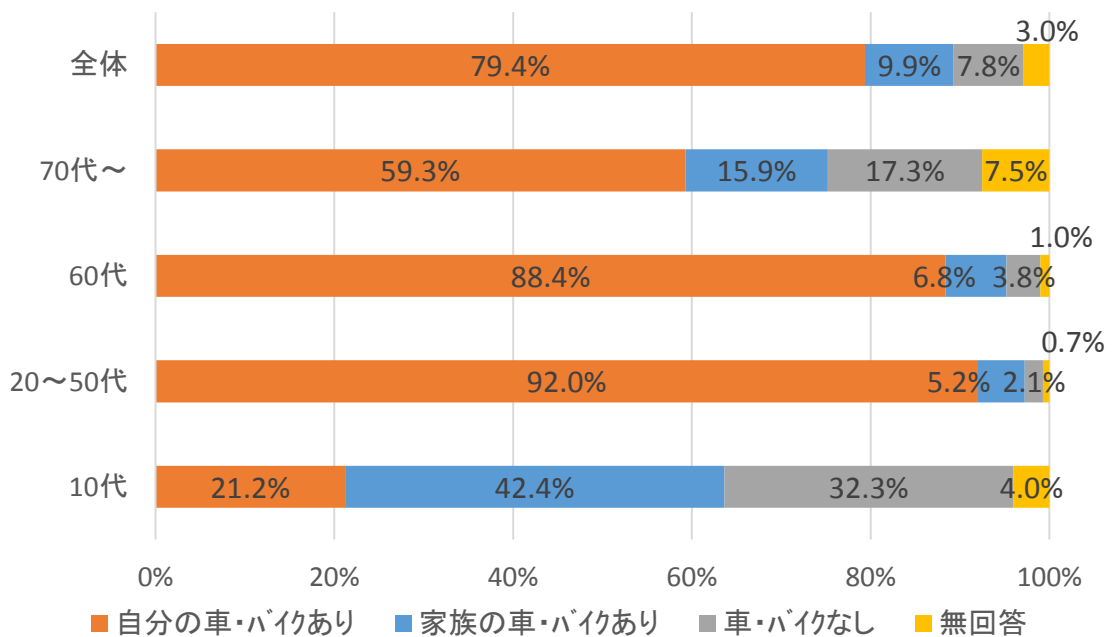
オ 運転免許の有無

- ・自動車又はバイクの運転免許を保有する人は、全体で 84.4%、70 代以上の高齢者においては 63.6%であった。



カ 自動車の所有

- ・自分の車又はバイクを所有する人は、全体で 79.4%、70 代以上の高齢者においては 59.3%であった。



④総括

- ・アンケートにおいては、性別、年齢など、アンケート結果の分析の参考となる情報が得られた。
- ・また、「オ 運転免許の有無」「カ 自動車の所有」の調査結果から、市民の多くは車又はバイクで移動する手段を持っているが、高齢者においては、こうした移動手段を持たない人が一定数いることが分かった。

(2) 問 2：公共交通に対する意識

①調査の趣旨

公共交通の重要性に係る市民の意識を調査することにより、公共交通の必要性を検討するための参考とする。

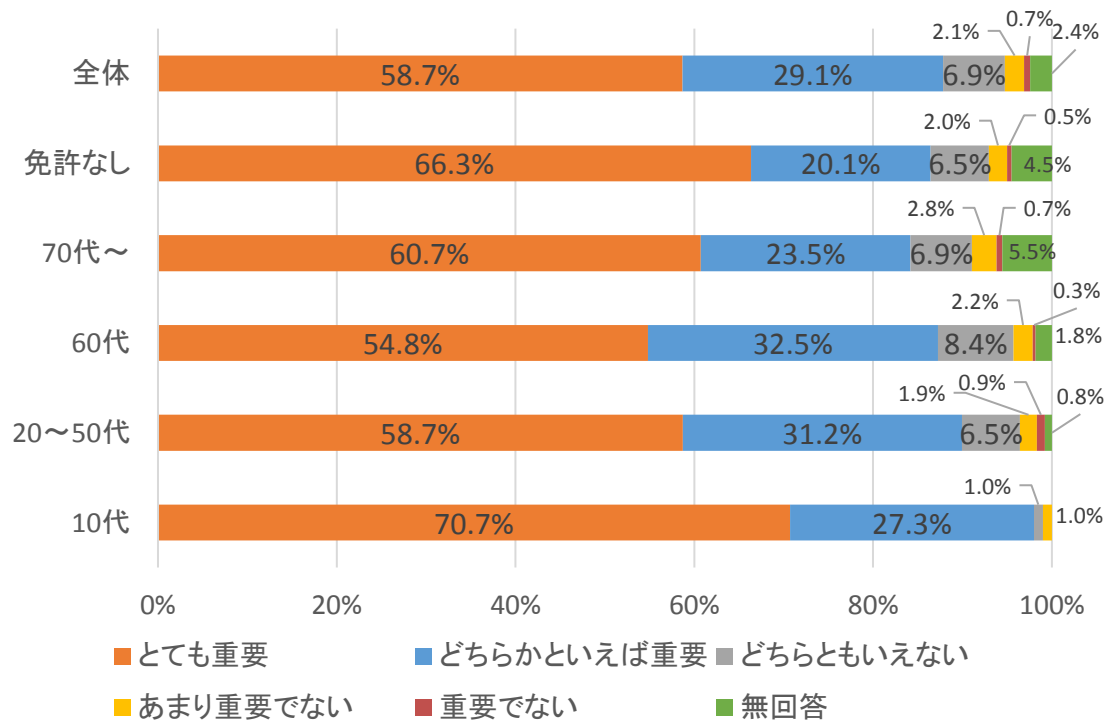
②調査事項

地域にとっての公共交通の重要性、重要と考える理由

③調査結果

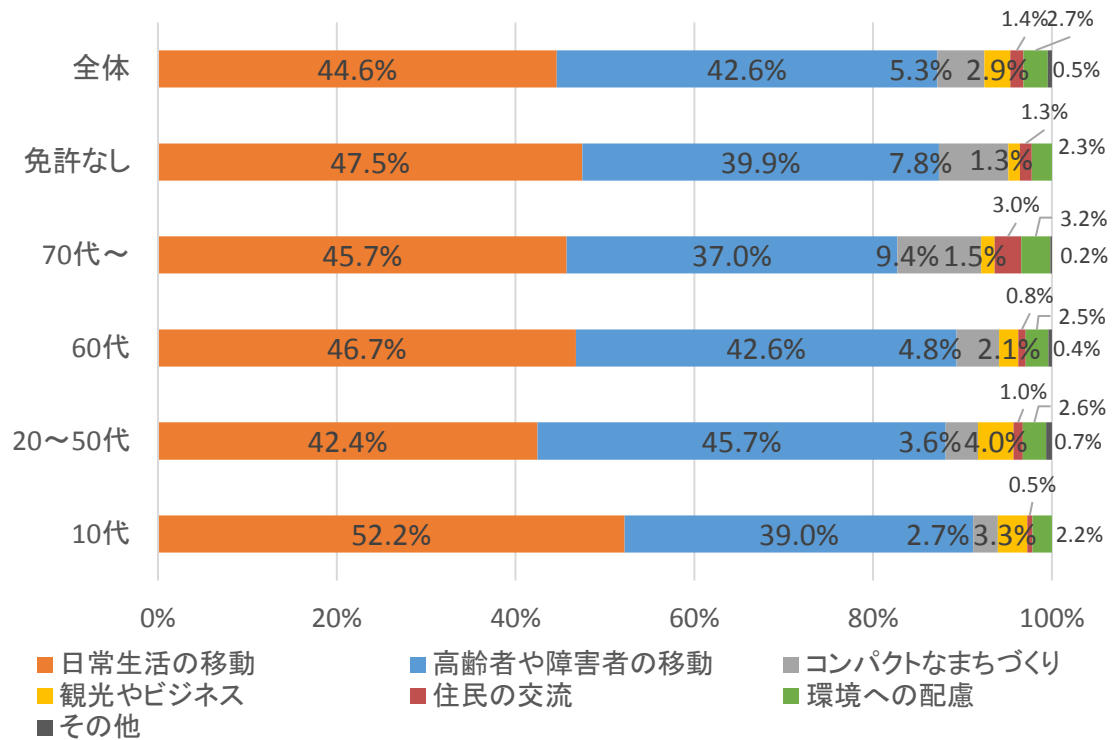
ア 公共交通の重要性（問 2－1）

- ・公共交通が、「とても重要」「どちらかといえば重要」と考える人が全体の 87.8%であり、全ての世代区分において 80%を超えた。
- ・「とても重要」と考える人は、10代では 70.7%、70代以上では 60.7%、免許を持たない人では 66.3%となり、全体の 58.7%より多かった。



イ 重要と考える理由（問2-2）

- ・公共交通が「とても重要」「どちらかといえば重要」と考える理由として、「日常生活の移動」「高齢者や障害者の移動」と答えた人が、合わせて全体の87.2%であった。



④総括

- ・全ての世代において、公共交通の重要性が広く認識されており、特に10代や免許を持たない層において強く認識されていることが分かった。
- ・また、高齢者や障害者をはじめとする、移動に制約がある人の日常の移動手段として公共交通が重要であると考えの人が最も多く、移動制約者の移動手段の確保という視点が、公共交通にとって重要であると認識されていることが分かった。
- ・このほか、第6次総合計画の後期基本計画の策定に当たり、市が平成30年1月に実施した「上越市市民の声アンケート」においては、当市が行う61の主な取組のうち「公共交通の利便性向上」については、満足度が2番目に低い結果となった一方、重要度が2番目に上昇した項目となったことから、当市の公共交通ネットワークのあり方を見直すことは重要な課題であるといえる。
- ・当市の公共交通においては、移動制約者をはじめとする市民の移動手段の確保を重要な課題と捉え、そのあり方を検討する。

(3) 問3-1：最寄り駅・バス停までの移動

①調査の趣旨

最寄り駅・バス停までの所要時間等を調査することで、市民にとっての公共交通機関の利用のしやすさを把握するための参考とする。

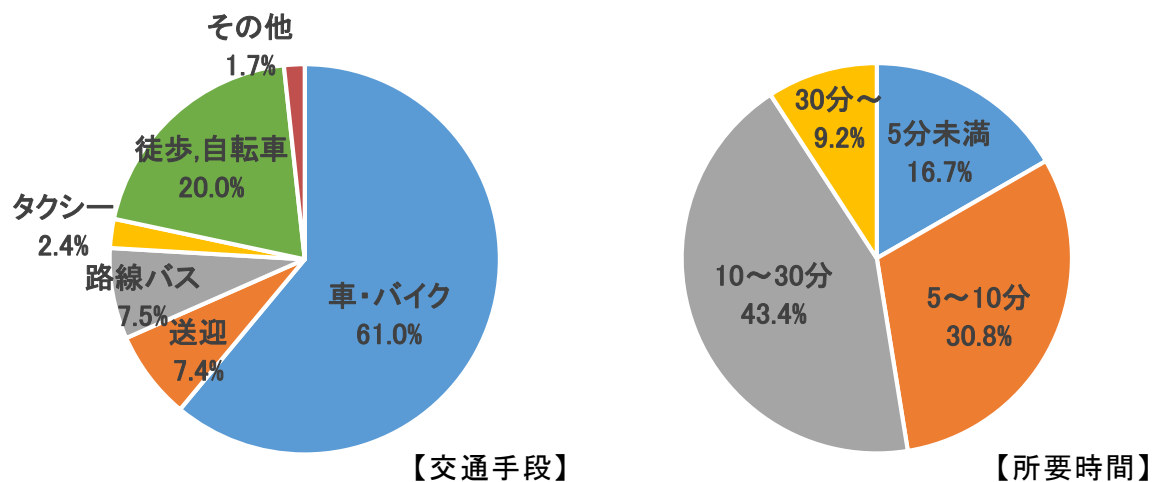
②調査事項

最寄り駅までの交通手段と所要時間、最寄りバス停までの徒歩での所要時間

③調査結果

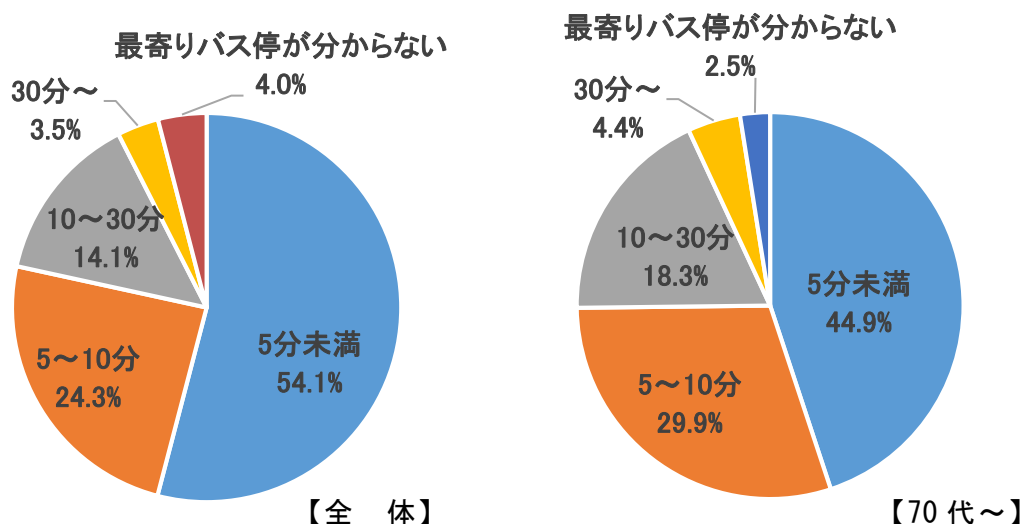
ア 最寄り駅までの交通手段と所要時間

- ・交通手段は車・バイクが61.0%、所要時間は10～30分が43.4%と最も多かった。



イ 最寄りバス停まで徒歩での所要時間

- ・全体では、徒歩5分未満の圏内にあるとする人が54.1%と最も多く、5～10分と答えた人も合わせると78.4%となった。



④総括

- ・最寄り駅まではある程度時間をかけて鉄道を利用する人が多い一方、バス停は比較的きめ細かに設置されており、問3-6の結果からも、バス停までの距離については市民の満足度が高いことが分かった。
- ・一方、市民からは「最寄りのバス停までの移動が負担」との声も聴いているため、地区公共懇話会や地域住民・団体との意見交換、聞き取り調査を通じ、最寄り駅・バス停までの移動について、引き続き市民のニーズを把握していく。

(4) 問3-2：「上越市内 公共交通利用ガイド」の認知度等

①調査の趣旨

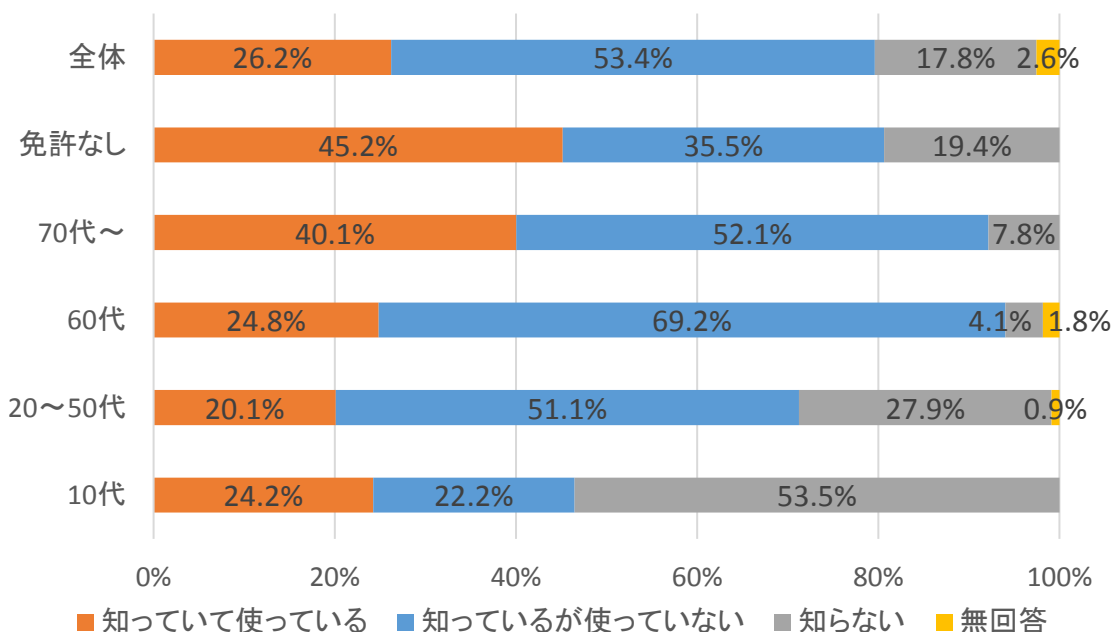
公共交通を利用するために必要な情報である路線図、時刻表等を掲載し、毎年全戸配布している「上越市内 公共交通利用ガイド」の認知度と利用状況を調査し、必要な人に必要な情報が行き届き、公共交通の利用につながっているかを把握することにより、今後の情報提供のあり方を検討するための参考とする。

②調査事項

「上越市内 公共交通利用ガイド」の認知度、利用の有無

③調査結果

- ・利用ガイドを知っている人は全体の79.6%であり、70代以上は92.2%、10代は46.4%と、年代が上がるほど認知度が高かった。
- ・利用ガイドを使っている人は全体の26.2%であり、年代が上がるほど利用率が上がったほか、免許を持たない人の利用率は45.2%であった。



④総括

- ・「上越市内 公共交通利用ガイド」は、市民から一定程度認知されていることが分かった。
- ・認知度、利用率とも、年代が上がるほど高く、特に70代以上の人と免許を持たない人は、利用ガイドを活用している人が多いことが分かった。
- ・一方、年代が下がるほど認知度が下がり、全体の約2割の人が利用ガイドを知らないほか、「知っているが使っていない」市民が全体の半数を超えることから、今後は、より使いやすい公共交通ネットワークの検討とともに、利用ガイドの内容の改善やさらに有効な情報提供の方策を検討することにより、より多くの市民から公共交通を利用してもらうことを目指す。

(5) 問3-3：市民の移動実態

①調査の趣旨

市民の普段の移動実態を調査し、市民の移動が多い区間、少ない区間や、外出目的ごとの移動手段等を把握することで、需要に応じた公共交通ネットワークを検討するための参考とする。

②調査事項

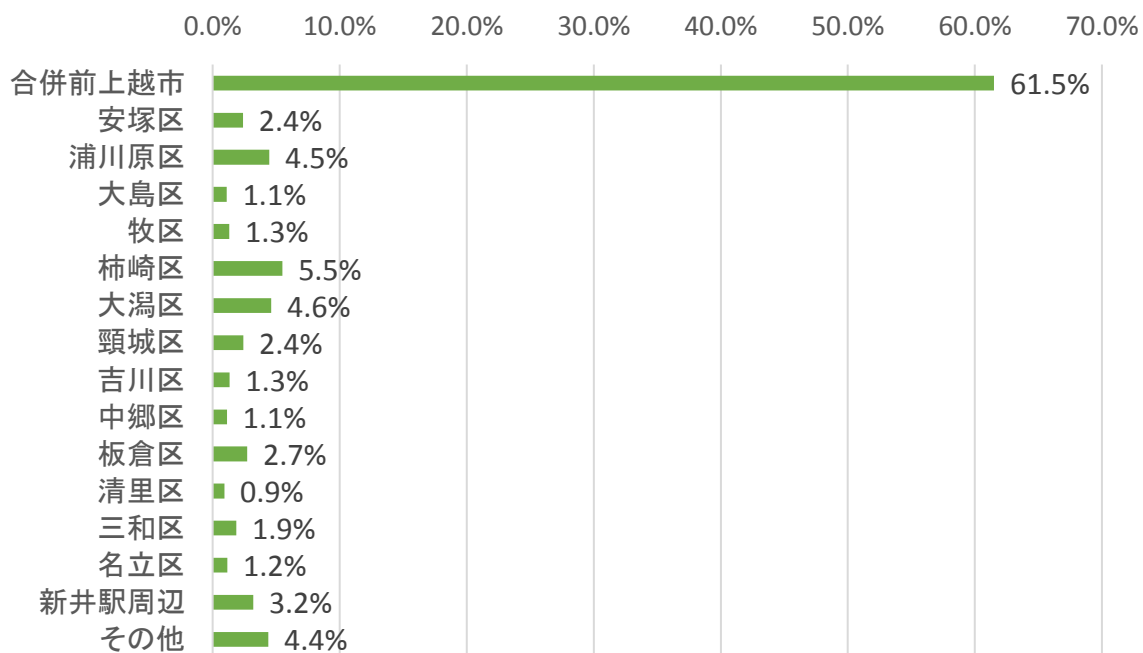
普段の外出の方面、目的、移動手段等の移動実態

③調査結果

ア 外出の方面

- ・外出の目的地としては、合併前上越市が全体の61.5%と最も多く、この傾向は、通学、通勤、通院等の目的別の場合も同様であった。

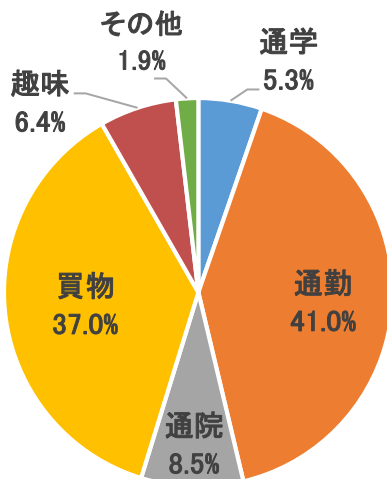
(外出の方面別の割合)



イ 外出手段

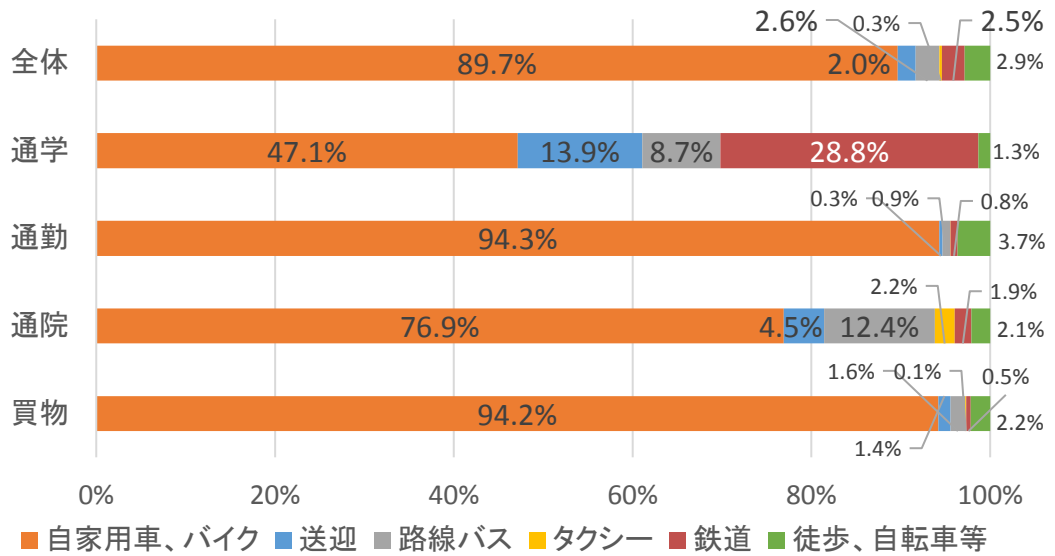
- ・全体では、「自家用車、バイク」による移動が 89.7%と最も多く、公共交通（鉄道、路線バス、タクシー）による移動は 5.4%であった。
- ・外出の目的別にみると、通学目的では、保護者等による送迎である「自家用車、バイク」「送迎」が合わせて 61.0%と最も多い一方、「鉄道」「路線バス」が合わせて 37.5%と、公共交通の利用が他の目的での外出よりも多かった。
- ・通勤目的と買物目的では「自家用車、バイク」による移動がともに 9割を超え、通院目的でも「自家用車、バイク」による移動が 76.9%であったが、「路線バス」の利用が 12.4%あったほか、「タクシー」の利用が 2.2%と、他の目的より多かった。
- ・免許を持たない人においては、家族等による送迎である「自家用車、バイク」「送迎」が合わせて 45.7%、公共交通の利用が 43.8%であった。
- ・外出の目的別にみると、通学、通勤、通院目的では、公共交通を利用する割合がそれぞれ 62.0%、57.8%、53.0%と比較的高く、通学、通院目的では送迎による割合がそれぞれ 36.7%、42.7%であったほか、買物目的では 64.0%であった。
- ・70 代以上では、「自家用車、バイク」による移動の割合が 81.9%と最も多いものの、公共交通による移動の割合が 10.9%であり、うち通院目的では 21.6%と、他の目的より高かった。

(外出目的別の移動割合)

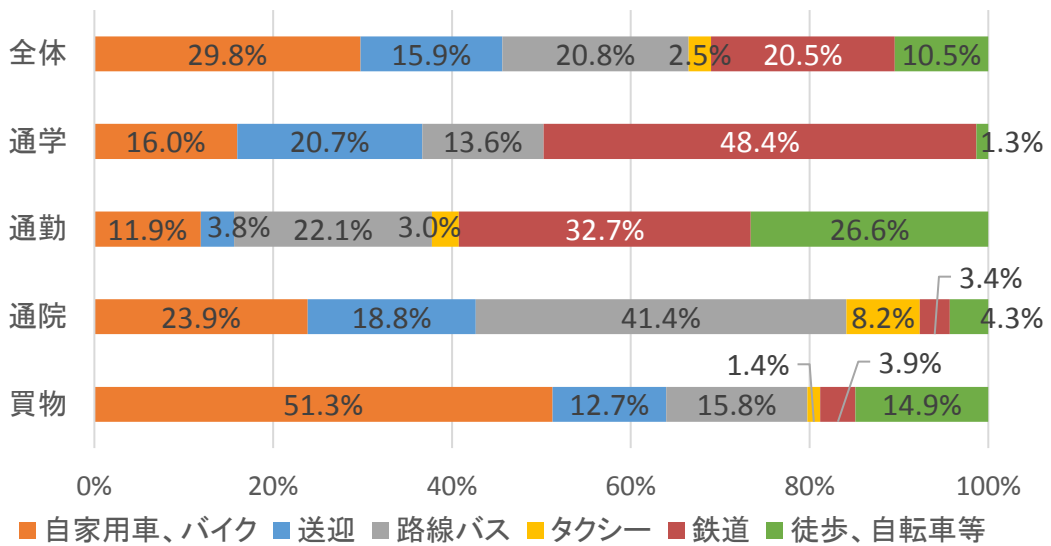


(移動目的別の外出手段)

■ 全体

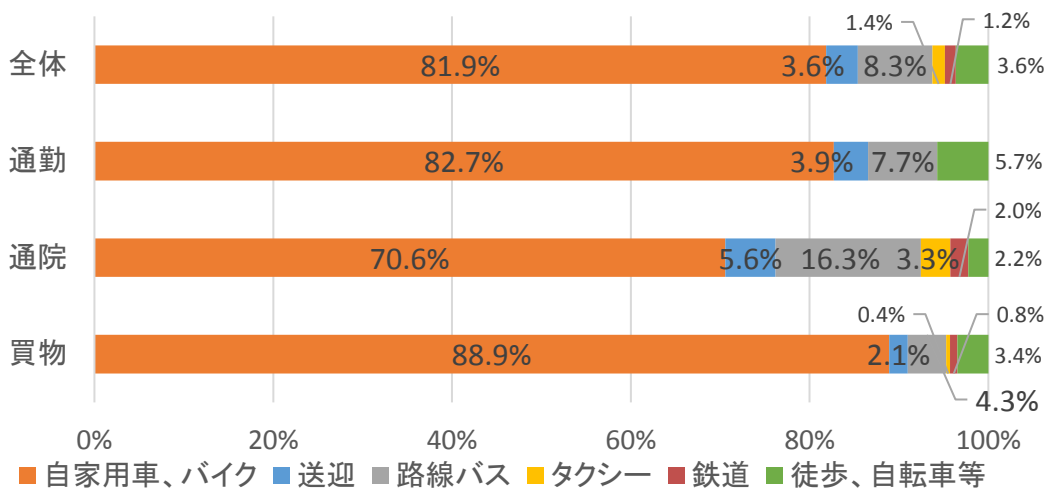


■ 免許なし

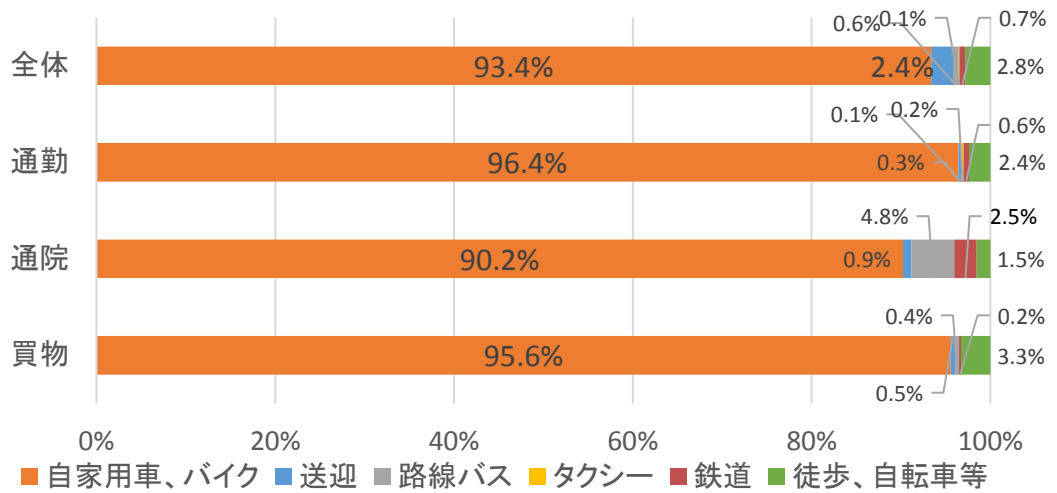


※「自家用車、バイク」は家族等による送迎と思われる。

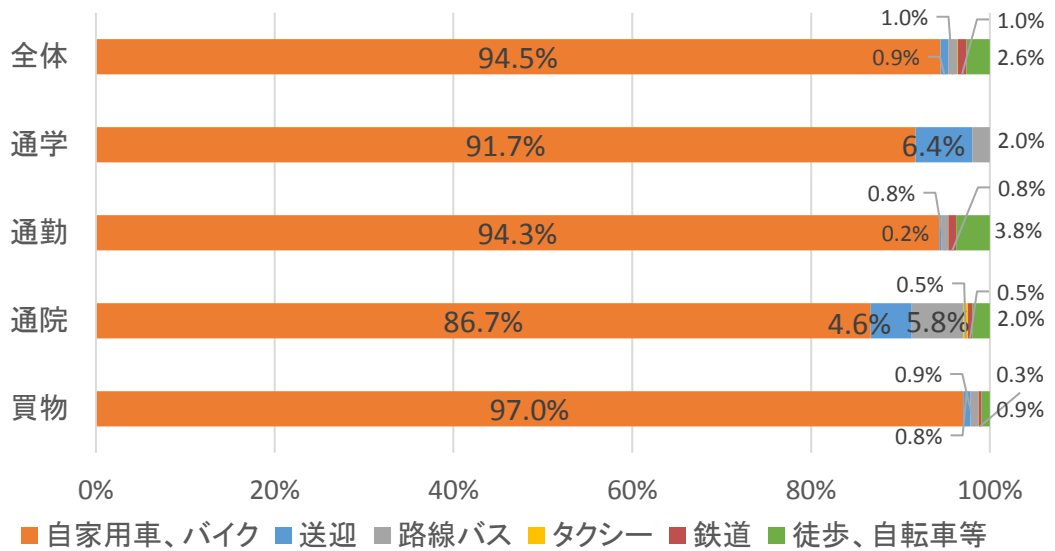
■ 70代以上



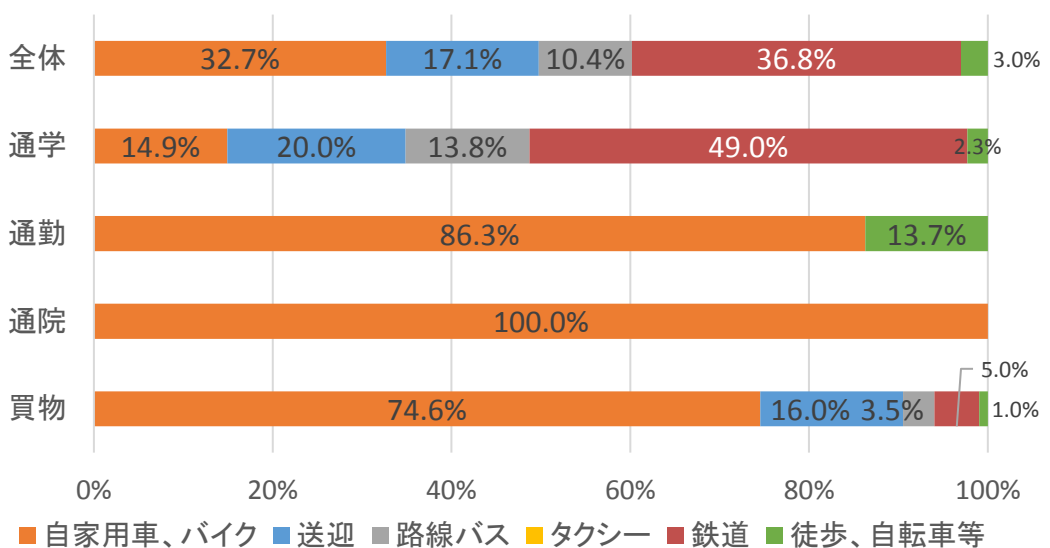
■ 60代



■ 20代～50代



■ 10代



④総括

- ・本調査で明らかとなった市民の外出実態、具体的には、区間ごとの移動目的や移動量等を参考に、路線の役割分担など、市全体のネットワークのあり方を検討するとともに、各路線の役割やニーズに応じた、サービスの充実や効率化等の改善策を検討する。
- ・市民の移動手段の多くは自家用車、バイクであるが、定時、定期的な移動である通学や通院目的の外出においては、公共交通の需要が比較的多かったことから、これらの目的に応じた公共交通の利便性の向上等を検討する。
- ・一方、運転免許のない人の移動の約半数が送迎であるのは、公共交通の利便性が低いことや、送迎は自由度が高いことなどが考えられるが、家族等による送迎が将来確保されなくなることも念頭におき、様々な移動需要に対応できるような公共交通の利便性の向上等を検討する。

(6) 問3-4：お得な乗車券等の認知度

①調査の趣旨

公共交通を運行する事業者が発行する、公共交通のお得な乗車券等の認知度、利用状況を調査し、公共交通の利用を促進するための方策が、市民に広く周知されているか、また、市民のニーズに合ったものとして利用されているかを把握し、今後の利用促進策のあり方を検討するための参考とする。

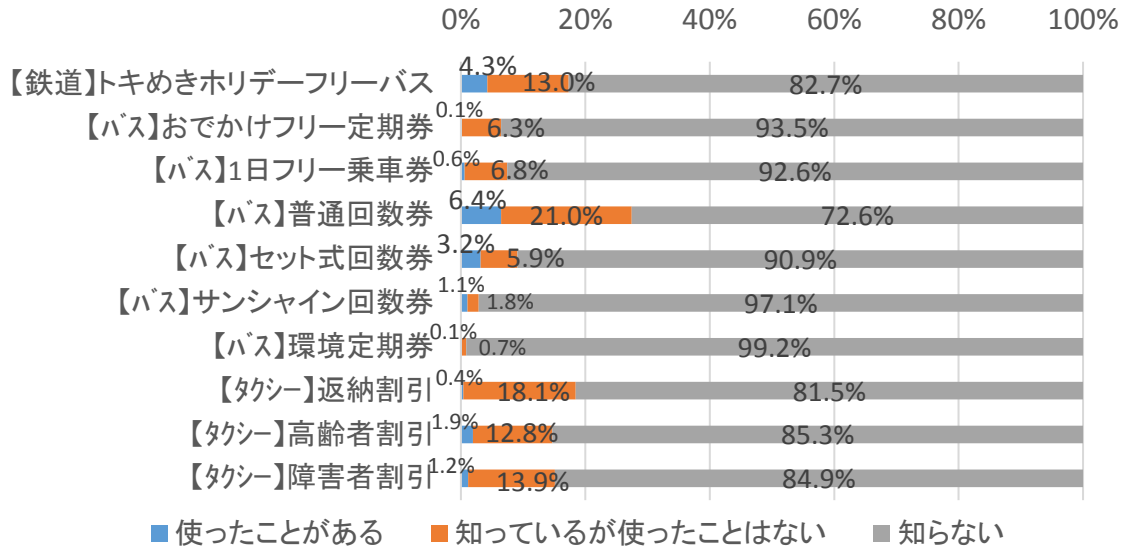
②調査事項

各種お得な乗車券等の認知度、利用の有無

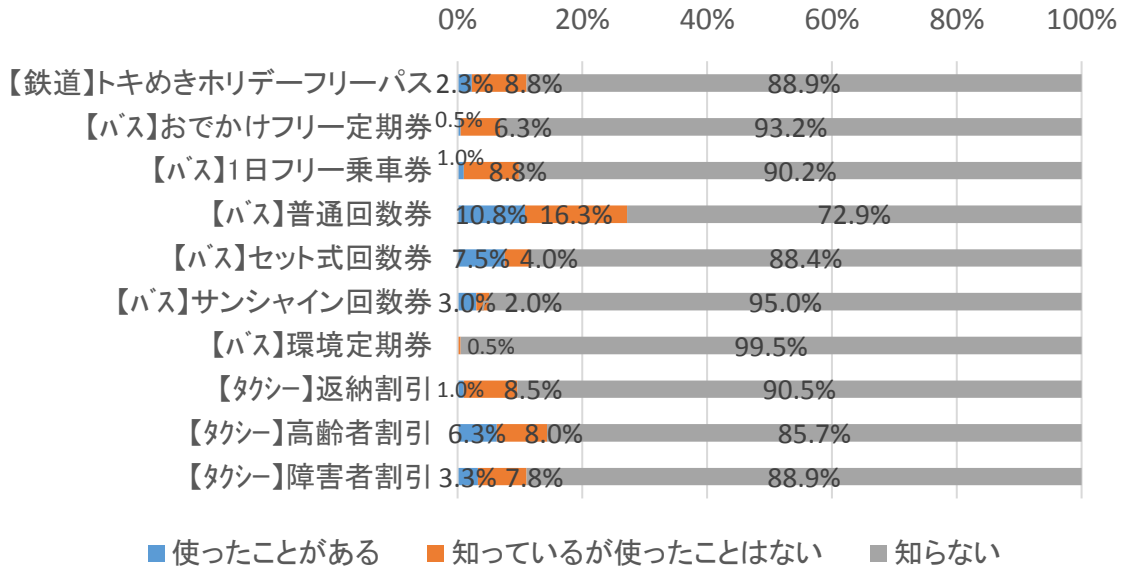
③調査結果

- ・全体では、全ての乗車券等を知らない人が7割以上であった。
- ・鉄道について、「トキめきホリデーフリーパス」の認知度は、10代が35.6%である一方、70代以上の認知度は7.4%であった。
- ・バスについて、高齢者向けの「おでかけフリー定期券」の認知度は、70代以上においても8.6%であり、使ったことがある人は0.3%であった。
- ・バスの「普通回数券」について、10代では19.5%が使ったことがあるが、70代以上で使ったことがある人は2.5%であった。
- ・タクシーの各種割引制度について、返納割引は、70代以上の認知度が20～50代よりも低かった。

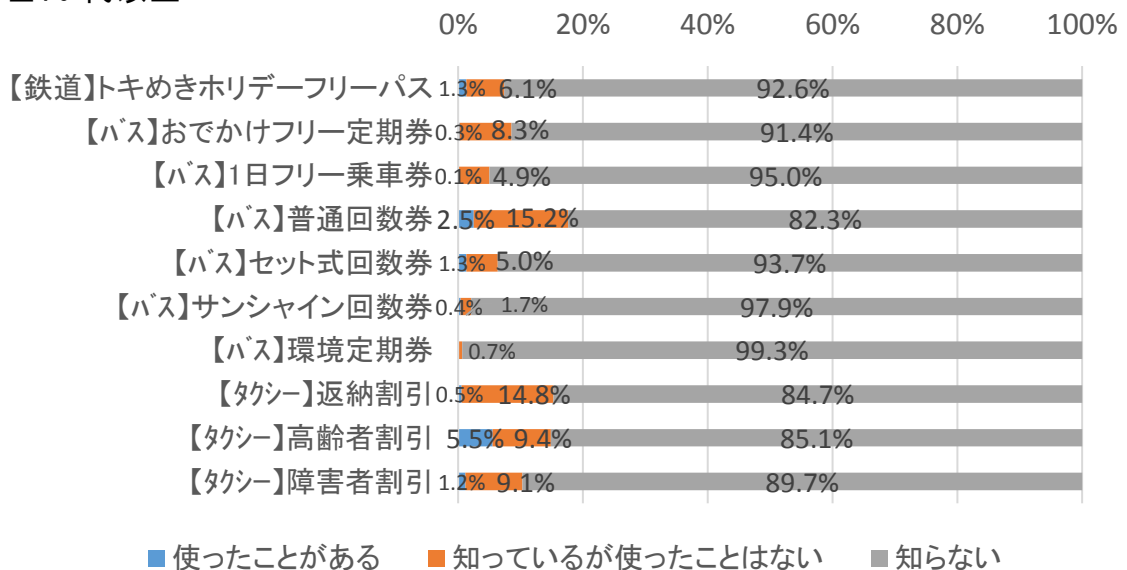
■全体



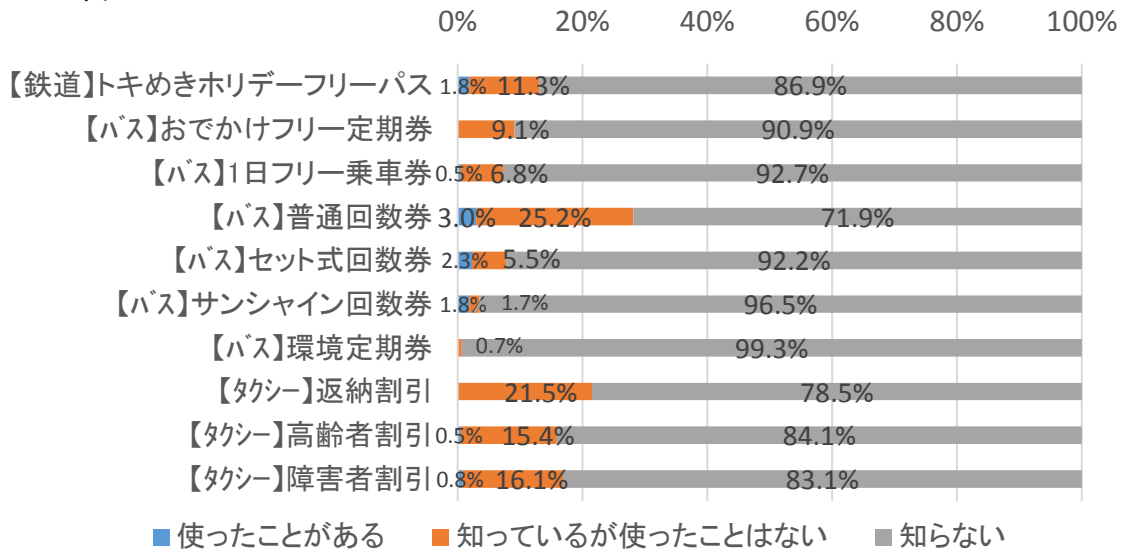
■免許なし



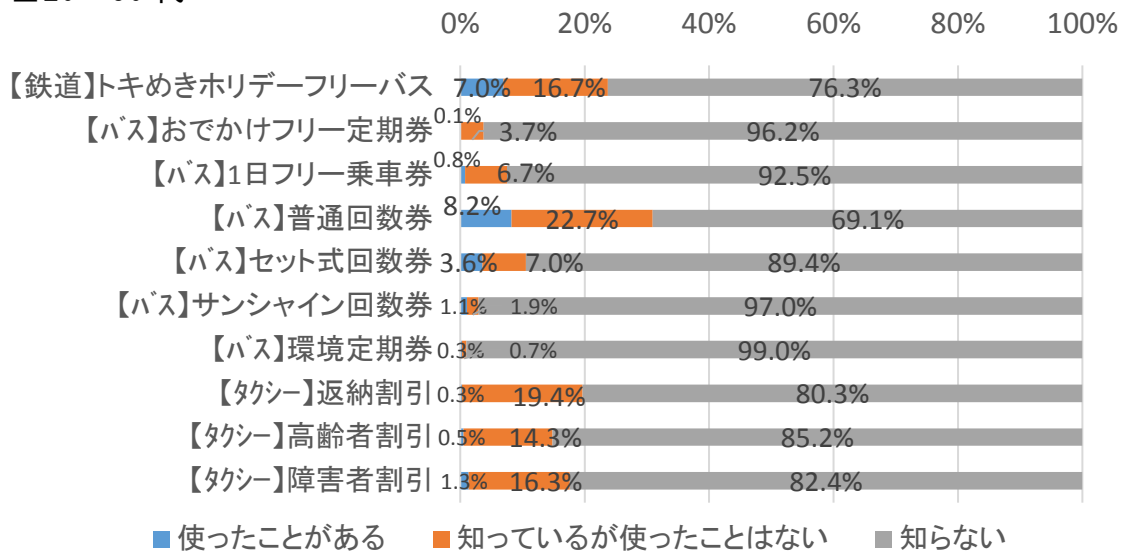
■70代以上



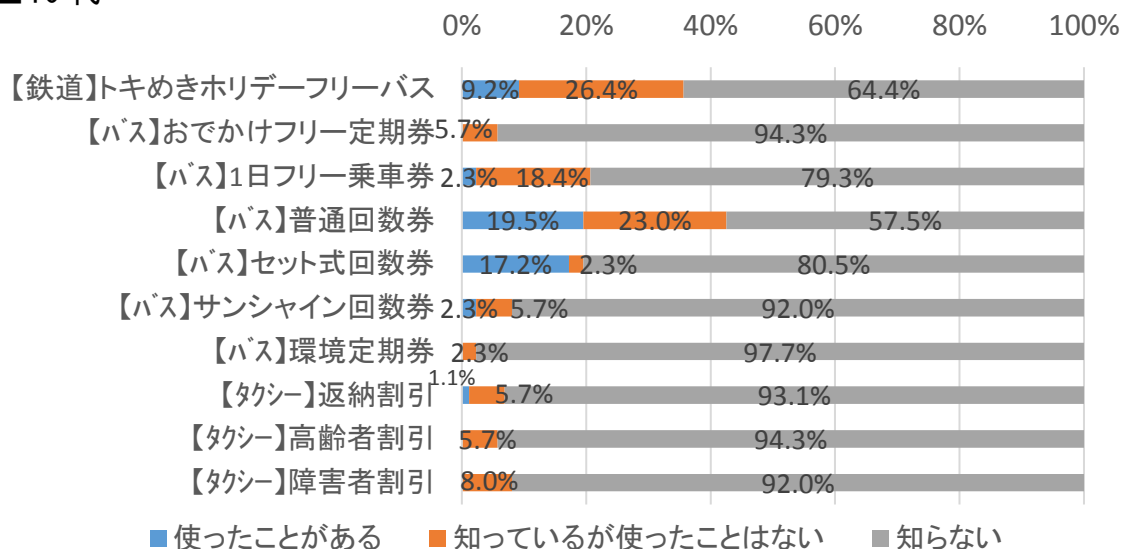
■ 60代



■ 20～50代



■ 10代



④総括

- ・公共交通のお得な乗車券等については、全般的に認知度が低く、その結果、利用率も低くとどまっていることが分かった。
- ・「おでかけフリー定期券」における高齢者など、乗車券等の利用者層となる市民の認知度が低いものもあり、より利用者のニーズに合った乗車券や、効果的な周知方法など、「乗ってもらえる公共交通」のために効果的な利用促進策について、事業者とともに検討する。

(7) 問3-5：公共交通を必要とする場面

①調査の趣旨

市民が公共交通を必要とする場面を調査し、公共交通の必要性を把握することで、当市の将来の公共交通に係る基本方針や、需要に応じた公共交通ネットワークを検討するための参考とする。

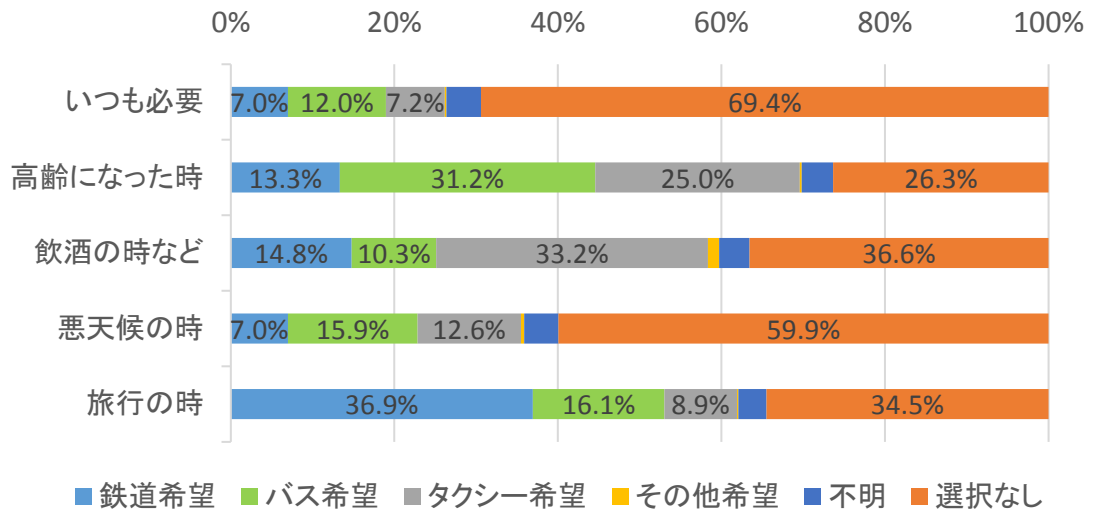
②調査事項

公共交通を必要とする場面、必要な公共交通機関

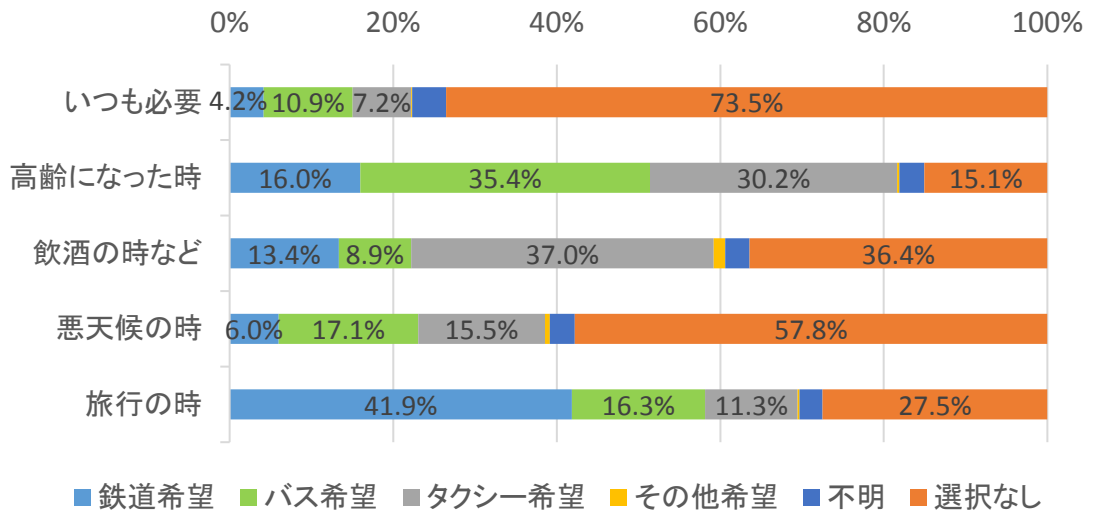
③調査結果

- ・全体では、公共交通（鉄道、バス、タクシー）を「いつも必要」と回答した人が26.2%であった。
- ・公共交通を必要とする場面として、「高齢になった時」と回答した人が69.5%と最も多く、次いで「旅行の時」が61.9%、「飲酒の時など」が58.3%、「悪天候の時」が35.5%と続いた。
- ・免許を持たない人、70代以上、60代の高齢者では、「高齢になった時」と回答した人が、それぞれ81.6%、60.8%、81.6%と最も多かった。
- ・20～50代では、「飲酒の時など」と回答した人が71.7%と最も多く、次いで「高齢になった時」が70.0%、「旅行の時」が67.5%と続いた。
- ・10代では、「いつも必要」と回答した人が67.3%と最も多く、次いで「旅行の時」が61.0%、「悪天候の時」が56.1%と続いた。

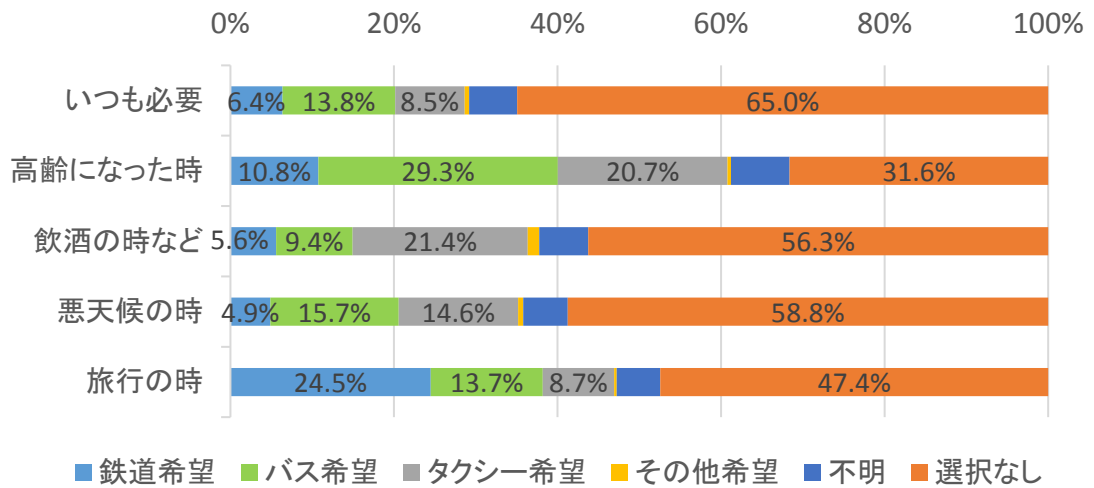
■全体



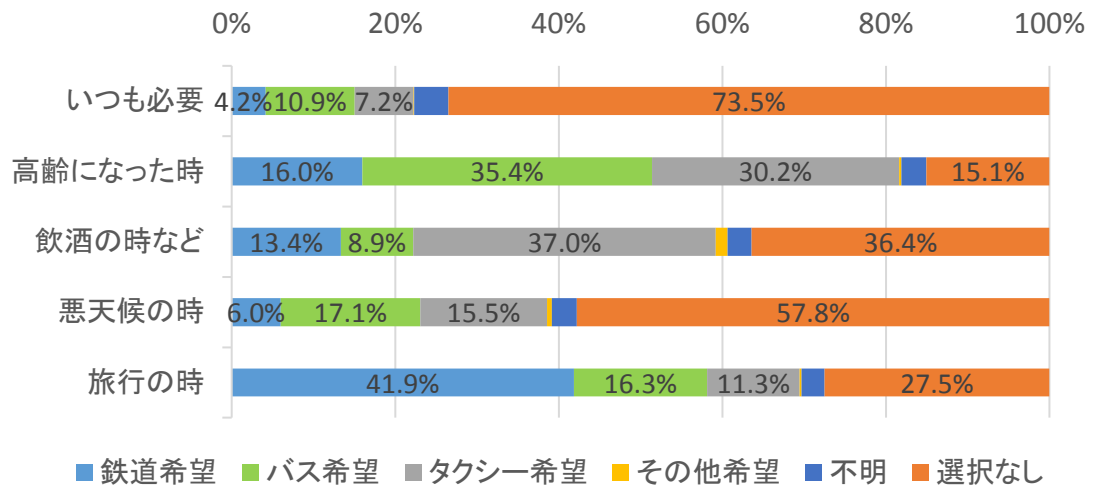
■免許なし



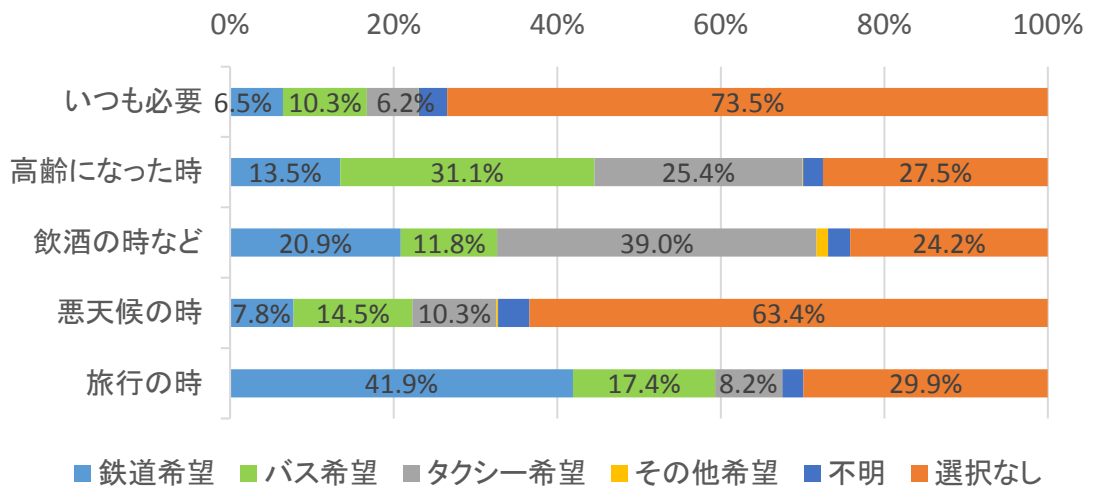
■70代以上



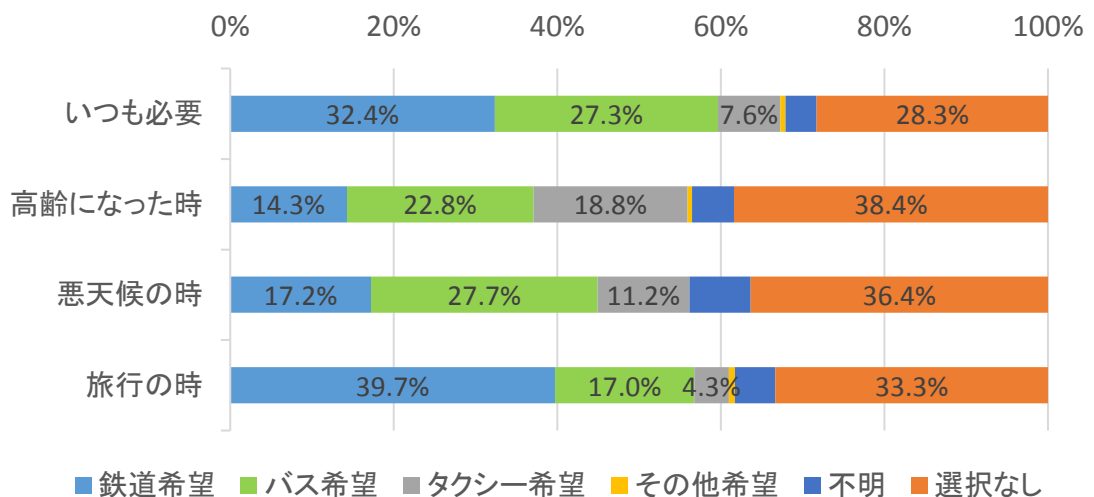
■ 60代



■ 20～50代



■ 10代



④総括

- ・高齢になった時に公共交通が必要と考える人が多いこと、また、10代の通学のための公共交通の需要が大きいことが再確認でき、高齢者や学生等の移動制約者の需要に応える必要があることが分かった。
- ・一方、高齢者の将来の移動手段に対する不安感は、前回調査から引き続き課題となっているものの、公共交通の利用者の減少傾向は依然として続いていることから、地区公共懇話会や地域住民・団体との意見交換、聞き取り調査を通じ、より具体的な課題、ニーズを把握することにより、「乗ってもらえる」公共交通ネットワークのあり方を検討する。

(8) 問3-6：公共交通サービスの満足度、重要度

①調査の趣旨

鉄道と路線バスのサービスについて満足度と重要度を調査し、優先的に取り組むべき課題、サービス水準を維持すべきポイント等を把握することにより、今後の公共交通ネットワークや利用促進策の見直し・改善の方針を検討するための参考とする。

②調査事項

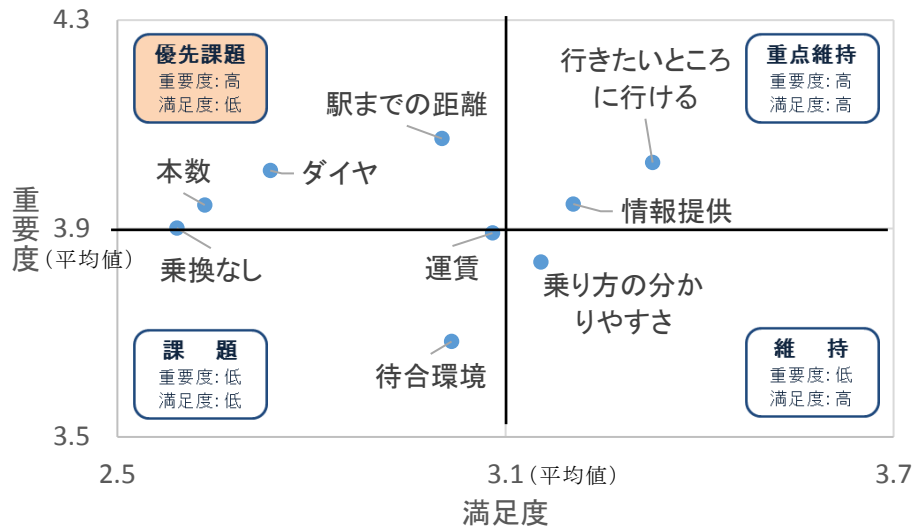
鉄道及びバスのサービスに係る各項目の満足度、重要度

③調査結果

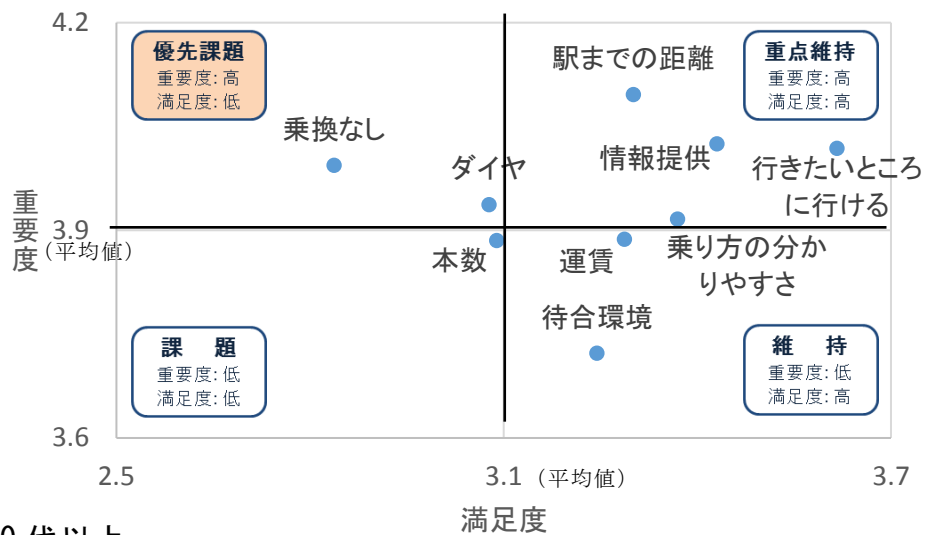
ア 鉄道

- ・全体では、乗換がないこと、運行本数、ダイヤ等は、サービスの重要度が平均以上であるが満足度が低く、「優先課題」に位置付けられた。
- ・また、待合環境の重要度は平均より低いものの、満足度が低く、「課題」に位置付けられた。
- ・一方、行きたいところに行けること、情報提供、乗り方の分かりやすさは満足度が高く、「重点維持」「維持」に位置付けられた。
- ・免許を持たない人、70代以上、60代の高齢者では、全体的に満足度が比較的高い傾向があるが、乗換がないことについては重要度が高くなる一方で満足度が低く、「優先課題」に位置付けられた。

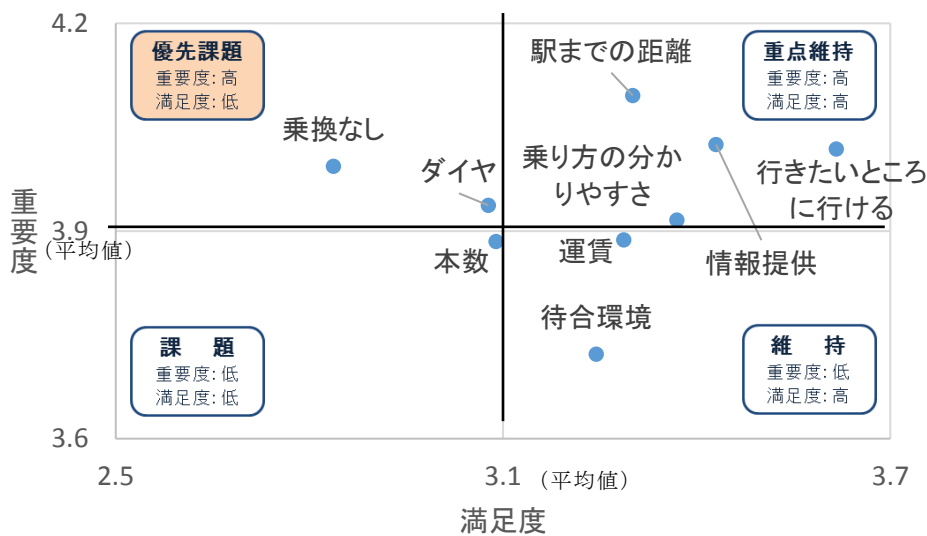
■全体



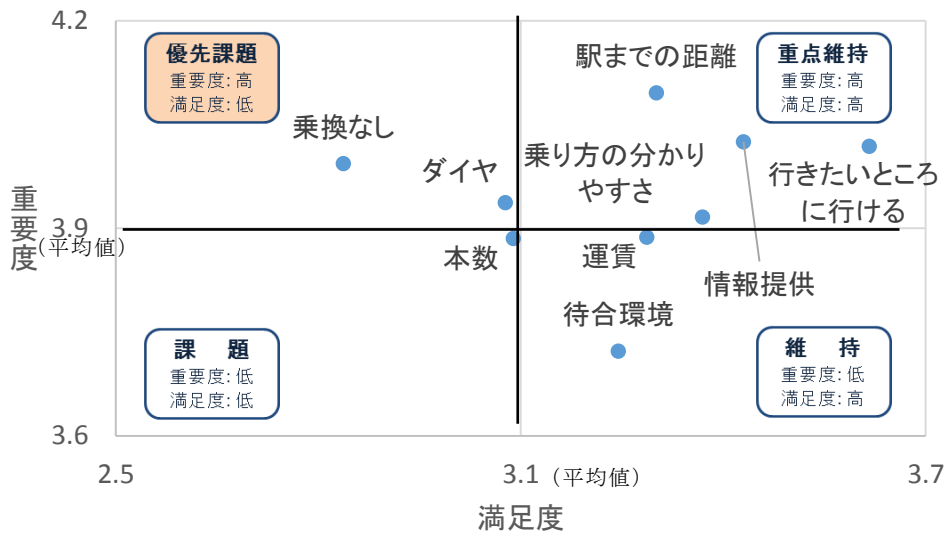
■免許なし



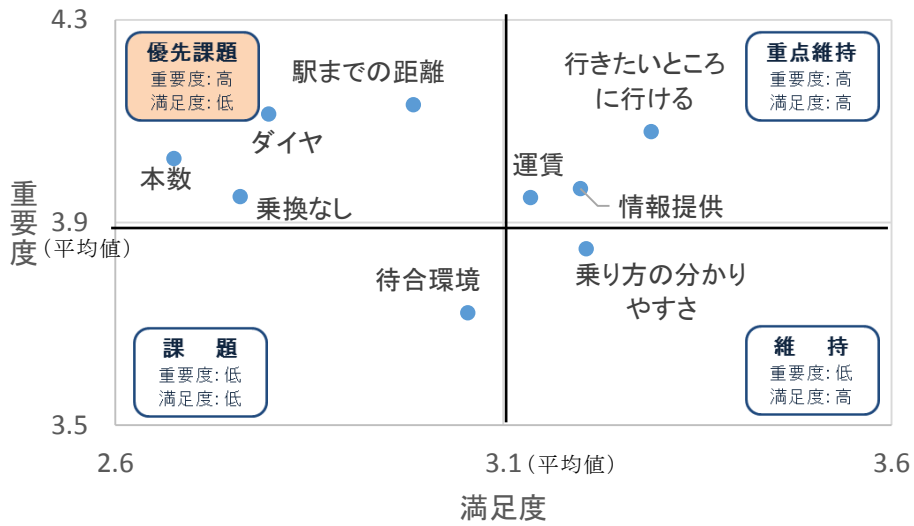
■70代以上



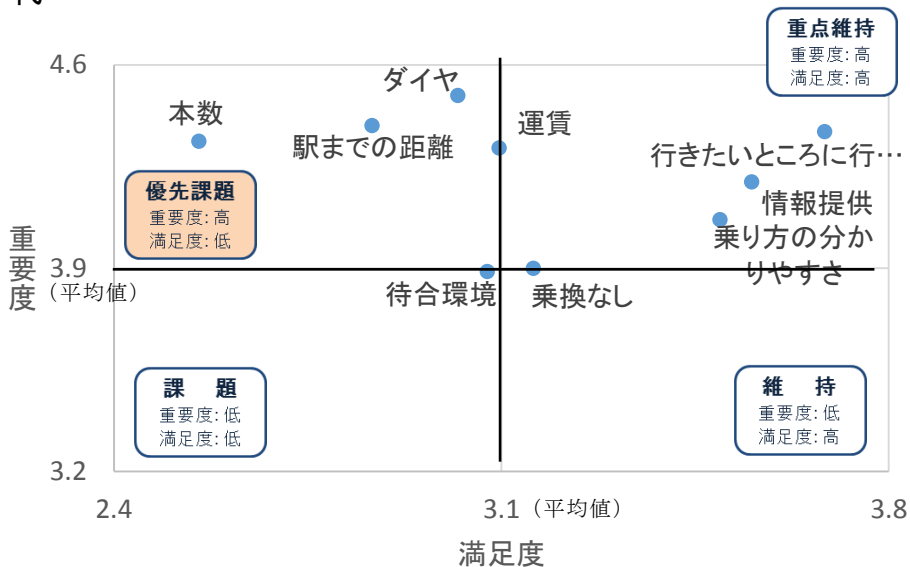
■ 60代



■ 20~50代



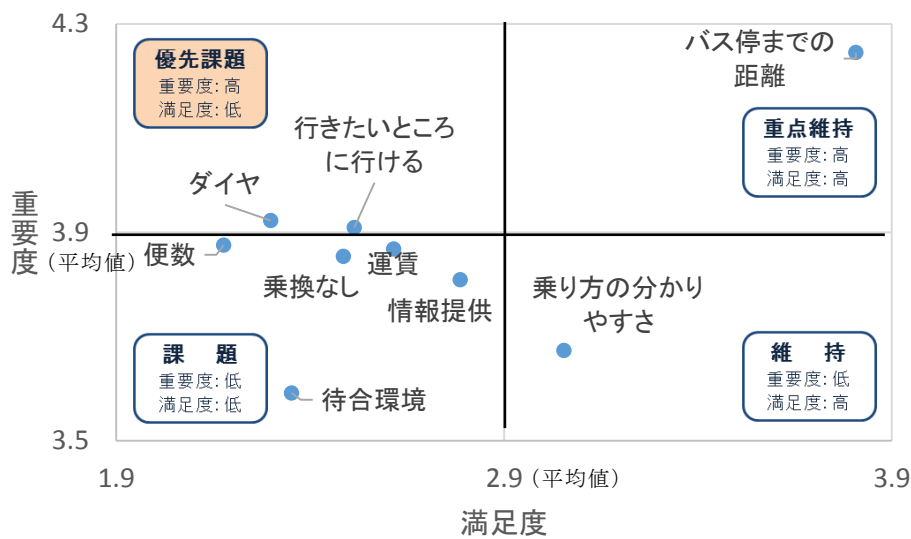
■ 10代



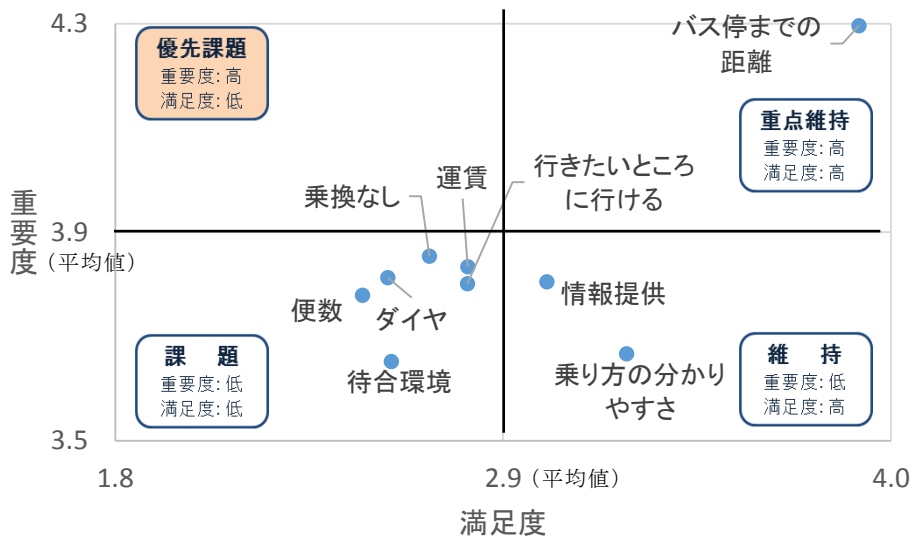
イ バス

- ・全体では、便数、ダイヤ、行きたいところに行けること、乗換がないこと、運賃などが、満足度が低く、「優先課題」又は「課題」に位置付けられた。
- ・一方、バス停までの距離は、重要度と満足度がともに高く、「重点維持」に位置付けられたほか、乗り方の分かりやすさも満足度が高く、「維持」に位置付けられた。
- ・免許を持たない人、70代以上、60代の高齢者も同様の傾向であったが、情報提供の満足度は比較的高かった。

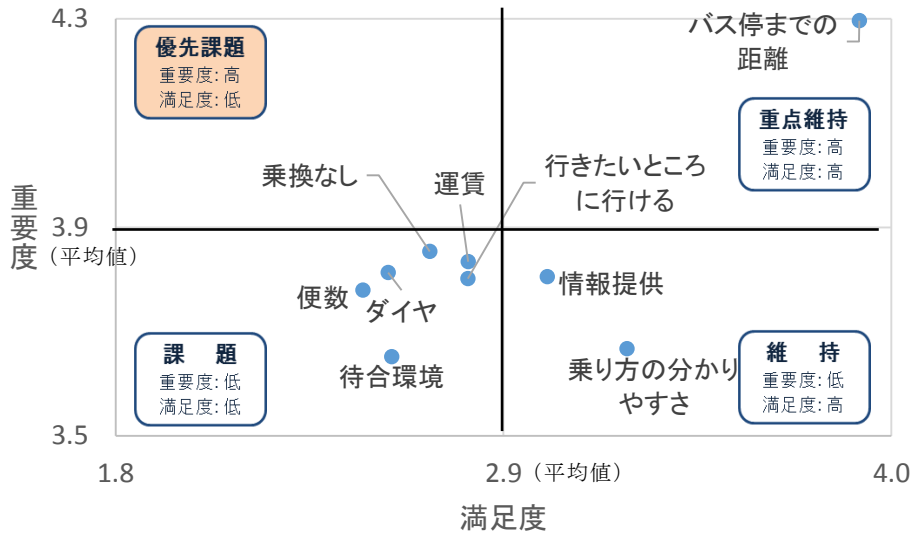
■全体



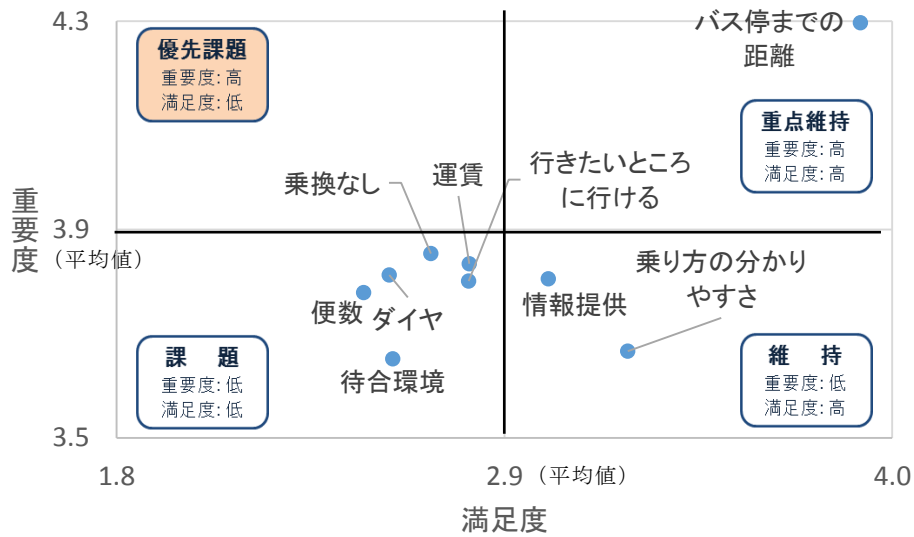
■免許なし



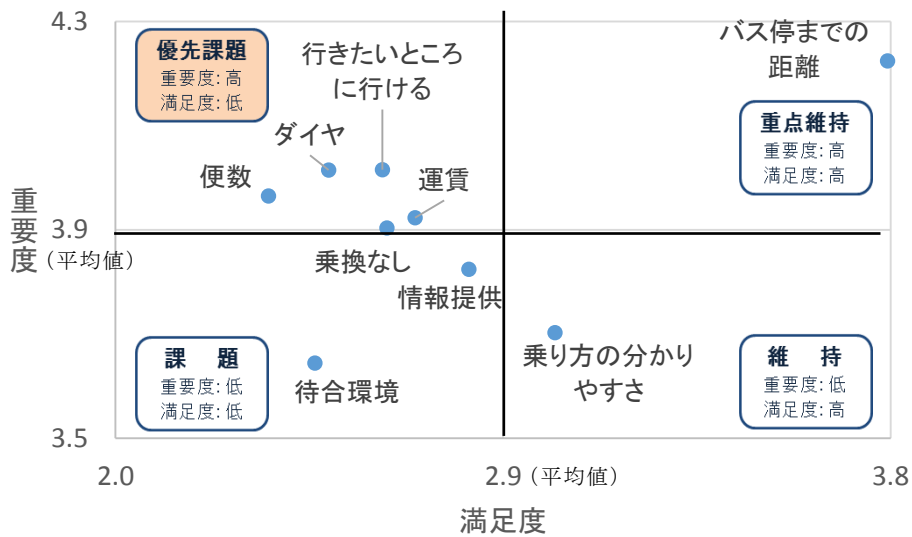
■ 70代～



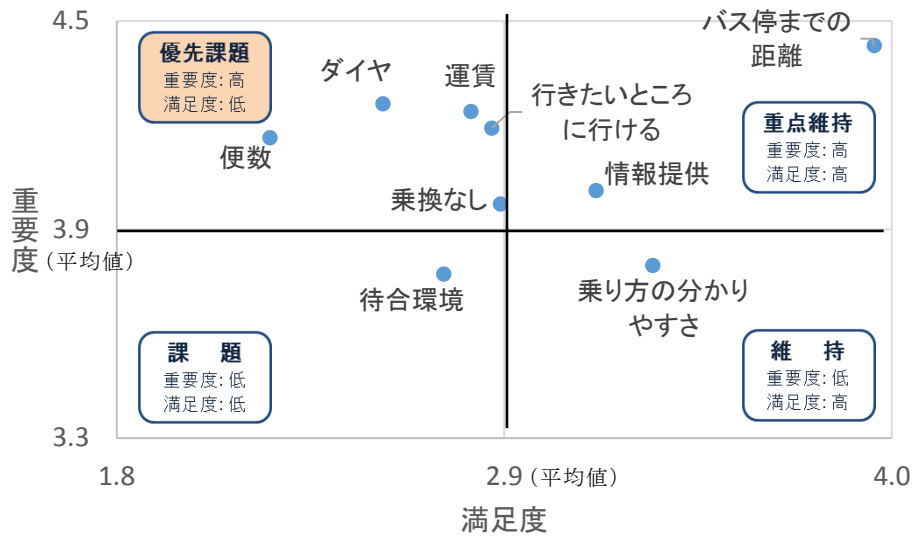
■ 60代



■ 20～50代



■ 10代



④ 総括

- ・ 「優先課題」「課題」「重点維持」「維持」に位置付けられたそれぞれの項目について、公共交通ネットワークの見直し・改善の検討に当たり調査結果を参考とする。
- ・ 検討に当たっては、地区公共懇話会や地域住民・団体との意見交換、聞き取り調査を通じ、地域、路線ごとに、引き続き市民のニーズを把握していく。

(8) 問4：バス路線の見直し策に対する認識

①調査の趣旨

バス路線の効率化を目的とした見直しは、利便性を低下させる可能性があるため、こうした見直し方策について市民の許容度を調査し、見直しを実施した場合の影響や実現可能性を把握することで、今後のバス路線の見直し方針や、具体的な見直し方策を検討するための参考とする。

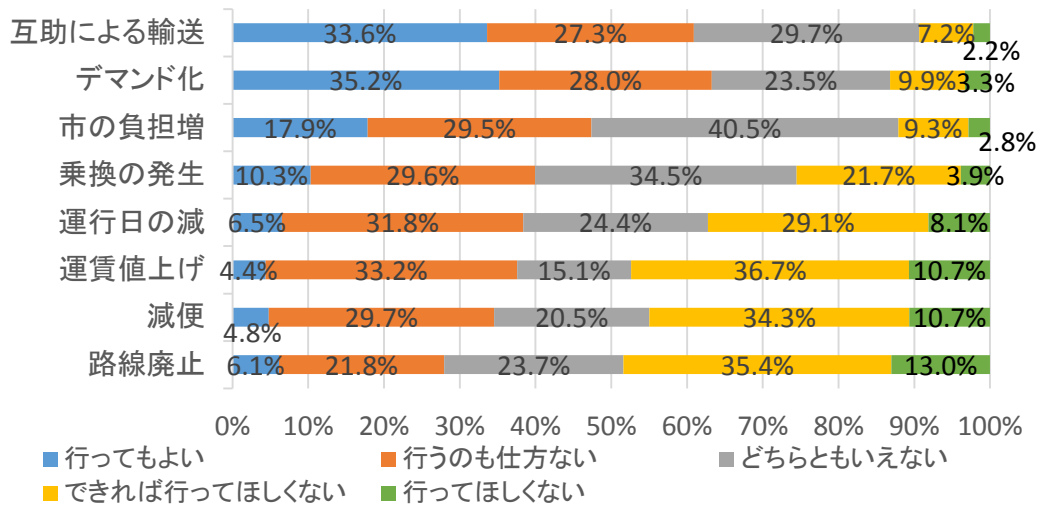
②調査事項

バス路線の各種見直し方策に係る市民の許容度

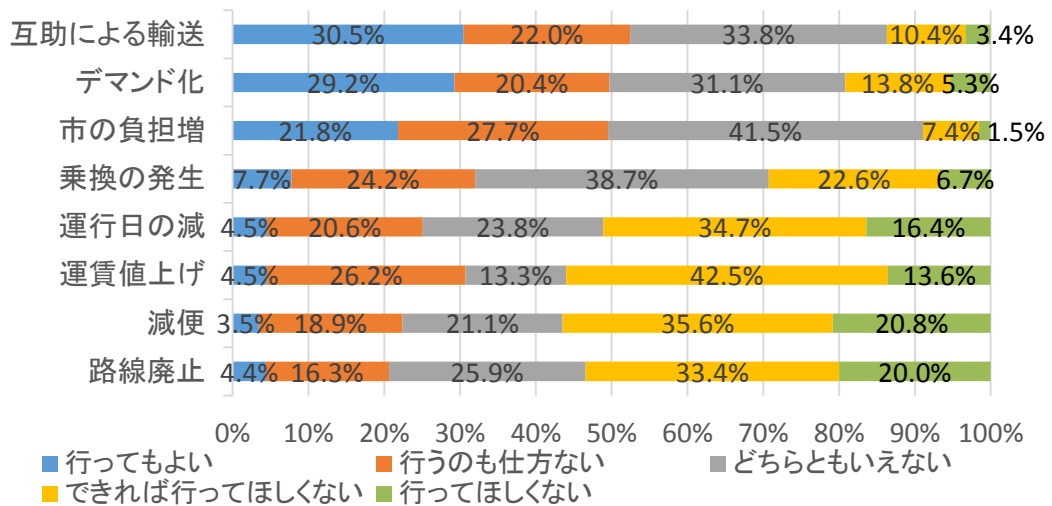
③調査結果

- ・全体では、「互助による輸送」「デマンド化」について、「行ってもよい」「行うのも仕方ない」とする回答がそれぞれ 60.9%、63.2%と多かった。
- ・次いで、市が負担を増やしてでも公共交通を運行すべきとの回答（「市の負担増」）について、「行ってもよい」「行うのも仕方ない」とする回答が 47.4%と多かった。
- ・一方、「路線廃止」「減便」「運賃値上げ」は、「行ってほしくない」「できれば行ってほしくない」とする回答がそれぞれ 48.4%、45.0%、47.4%と多かった。
- ・年代別にみると、10代において、「路線廃止」「減便」「運賃値上げ」「運行日の減」について、「行ってほしくない」「できれば行ってほしくない」とする回答が他の年代より多かった。

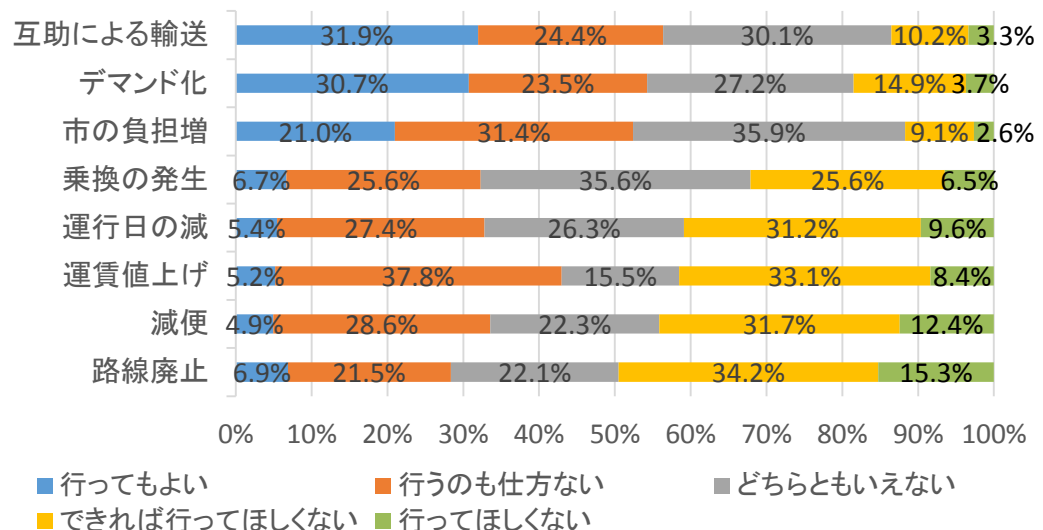
■全体



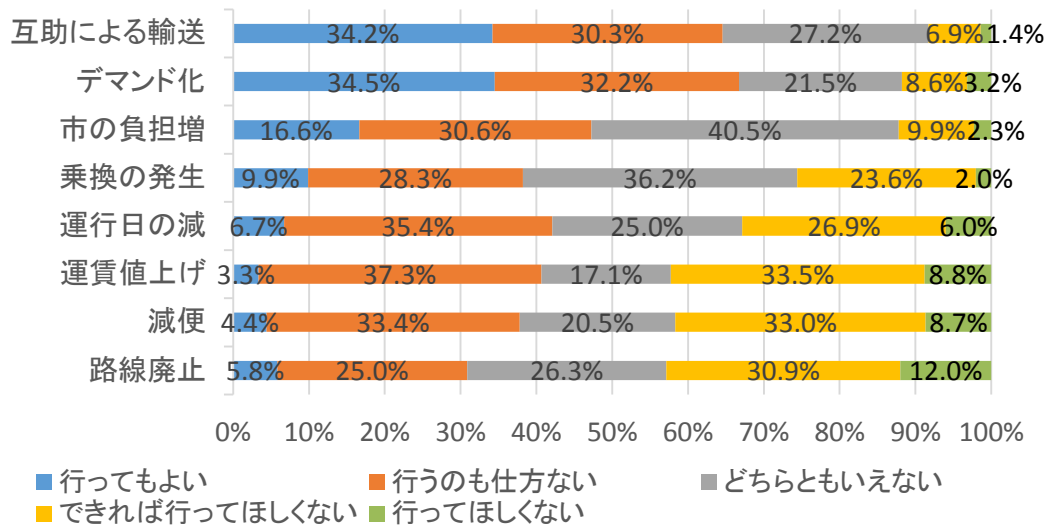
■免許なし



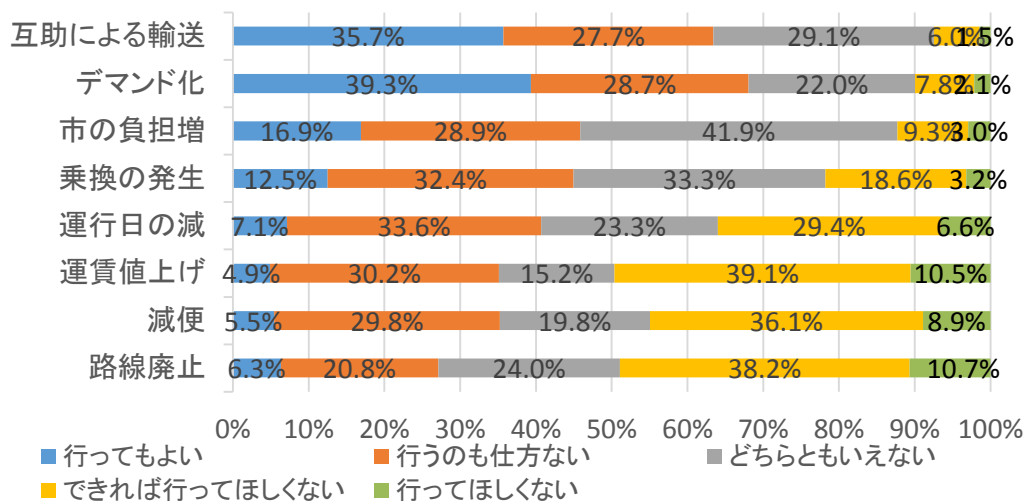
■70代以上



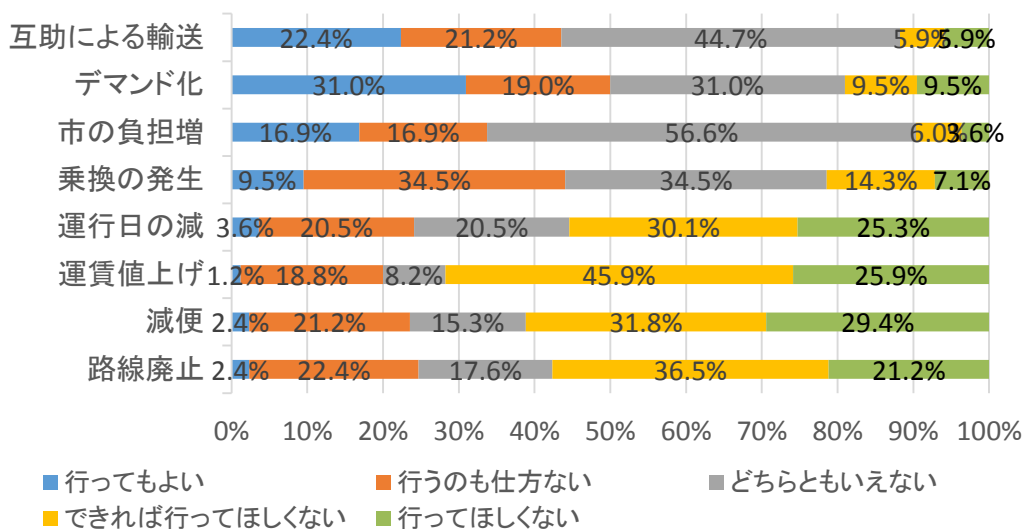
■ 60代



■ 20～50代



■ 10代



④総括

- ・「互助による輸送」「デマンド化」について、アンケートにおいては、市民の許容度が比較的高い一方、「路線廃止」「減便」「運賃値上げ」「運行日の減」については、許容度が比較的低いことが分かった。
- ・今後のバス路線の見直し方針や、具体的な見直し方策を検討するに当たり、これらの結果を参考としながら、地区公共懇話会や地域住民・団体との意見交換、聞き取り調査を通じ、より地域に合った方策を検討する。

3 本調査結果の活用

本調査結果は、「公共交通に関するアンケート」の基本的な集計を行ったものであり、別途実施している地域住民等への聞き取り調査の結果などとあわせ、次期総合公共交通計画の検討の参考とする。また、必要に応じ、本アンケートで得られたデータを詳細に分析し、地域公共交通活性化協議会等における議論の参考とする。

の かつ みの つ バスの乗り方やマナーを身につけて

きゅうじつ たび 休日はバスで旅に出かけませんか！

の かつ バスの乗り方はこれでバッチリ！



その1

の 乗りたいバスが来たら、手を挙げて、知らせます。



その2



の 乗口で、せりけん整理券をとります。



その1

お 降りたい停留所がアナウンスされたら、

ボタンをおします。



その2

うんちんひょうじばん 運賃表示板でりょうきん かくにん 料金を確認します。



その3

せりけん りょうきん 整理券と料金を うんちんばこ い 運賃箱に入れます。



の やくそく バスに乗るときは約束してね！



じゅんばん まも 順番を守る。



の 乗ったら 静かに。



まど て かお だ 窓から手や顔を出さない。



にもつ 荷物は“ひざ”か あしもと 足元に。

【保護者の方へ】

裏面に、水族博物館うみがたりへの道のりやお得にバスを利用できる情報を掲載しています。お子さんと一緒に、バスに乗ってみませんか。

おうちのひと いっしょに見てね。



バスを上手に利用して、お得で快適にお出かけ！

バスに乗って「うみがたり」へ行こう！

平成30年6月26日にオープンした上越市立水族博物館「うみがたり」。
最寄りバス停がイトーヨーカドー前なので、ショッピングも楽しめます！

直江津駅前	高田駅前	春日山駅前
藤野（イオン入口）	上越妙高駅前	
谷浜駅前	浦川原バスターミナル	
鵜の浜	うみてらす名立前	



左のバス停からは、
乗り換えなしで行け
ます。

イトー
ヨー
カドー
前



徒歩7分で…

うみがたりに到着



※上のバス停は一例です。このほかのバス停やバスの時刻等は、広報上越3月15日号と一緒に配布した「上越市内公共交通利用ガイド」をご覧ください。

時刻表や路線図を見て、予定を立てるのも出かける楽しみの一つ！ぜひ利用ガイドをご活用ください。

バスのお得情報 ～乗り方に合わせてお得に利用～

1日フリー乗車券

上越市内の路線バスが**1日乗り放題**！

販売価格 おとな **1,000円**
こども **500円**

～バス案内所・営業所、バス車内（運転手から購入）で販売～



利用方法

ご利用日の年月日をコイン等で1か所ずつ削り、降車時に運転手に提示ください。

ご注意

年月日のいずれか2か所以上削ると無効になります。誤って前の日を削った場合も無効となります。

サンシャイン回数券

午前9時から午後4時までのお出かけにぴったりな回数券！

販売価格 **1,000円**（1,250円分の回数券）
2,000円（2,500円分の回数券）

有効時間 午前9時から午後4時までに降車する場合

～バス案内所・営業所、バス車内（運転手から購入）で販売～

※土・日曜、祝日、8月15・16日及び12月29日～1月3日は**時間制限なし**で利用できます。



20%も割引される
なんてお得だね！

このほか、普通回数券（9%引）、セット式回数券（9%引）もあります。（普通回数券は車内販売していません。）

皆さんは知っていますか？土日祝日限定お得情報！

上越市内の路線バスが**1人1乗車100円**で利用できます！大変お得です！

環境定期券

対象者 通勤定期券または中学生以上の通学定期券の
所有者と同伴する家族（配偶者、子ども、両親、
祖父母、孫、兄弟姉妹）

※支払いは現金のみで、小児も同額。

利用方法 定期券または子育てジョイカードを提示の上、同伴者の人数をお伝えください。

子育てジョイカード

対象者 カード裏面に名前が記載されている方
子育てジョイカードの詳細や申請手続きについて
は、上越市こども課（025-526-5111）へお問い合わせ
ください。

バス案内所 高田駅前案内所、直江津駅前案内所、イトーヨーカドー前案内所
バス営業所 頸北観光バス(株)、頸南バス(株)、東頸バス(株)のバス営業所

高速バスや市営バス、頸南バス(株)が運行する「妙高高原ライナー」「笹ヶ峰直行バス」は上記お得情報の対象外です。

問合せ先：頸城自動車(株)バス営業所（025）543-3178（平日・土日祝日/8：30～18：00）

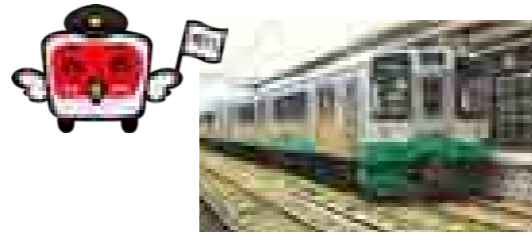
鉄道



えちごトキめき鉄道株式会社

トキめきホリデーフリーパス

土・日・祝日の連続する2日間、えちごトキめき鉄道(妙高高原～市振間)の普通列車・快速列車が乗り放題!



販売価格: おとな 1,000円、こども 500円

販売期間: ご利用日の1か月前から販売

利用期間: 平成31年3月31日までの土・日・祝日及び平成30年12月29日から平成31年1月3日の連続する2日間

販売箇所: 直江津、春日山、高田、上越妙高、新井、二本木、関山、妙高高原、筒石、能生、糸魚川、青海、泊(あいの風とやま鉄道)の各駅窓口

特典: 上記期間でご利用いただくと、「上越市立水族博物館うみがたり入館料200円引き」クーポン券をプレゼント!

問合せ先: えちごトキめき鉄道(株)(代表) ☎025-546-5520(平日 8:30~17:30)

えちごツーデーパス

JR東日本新潟支社

フリーエリア内の普通列車(快速含む)の普通車自由席が、金・土・日・祝日及び年末年始の連続する2日間乗り放題!

販売価格: おとな 2,690円、こども 1,340円

販売期間: 平成31年3月30日までの有効期間開始日の1か月前から有効期間開始日まで販売

利用期間: 平成31年3月31日までの金・土・日・祝日及び年末年始の連続する2日間

販売箇所: フリーエリア内のJR東日本の主な駅の指定席券売機、みどりの窓口、びゅうプラザ及び主な旅行会社、またはえちごトキめき鉄道の直江津駅、春日山駅、高田駅、新井駅、妙高高原駅、糸魚川駅

※フリーエリア等詳しくは、JR東日本新潟支社ホームページをご覧ください。

問合せ先: JR東日本お問い合わせセンター ☎050-2016-1600(平日/休日6:00~24:00)
(列車時刻、運賃・料金、空席情報案内)

その他: 北越急行(株)(問合せ先:十日町駅 ☎025-752-0770)、えちごトキめき鉄道(株)、JR東日本新潟支社では「運賃」の障害者割引があります(上記切符と併用はできません)。詳しくは、各問合せ先へご確認ください。



公共交通!

クルマの運転に不安を覚えた人や、そろそろ運転の卒業を考えている皆さん。これからは「公共交通」が皆さんを、安心・安全に、そして「お得」に目的地までお連れします!



「上越市内公共交通利用ガイド」を活用しよう!

何時に、どのバスでどこに行けるか、乗りたいバスがこの一冊でわかる!

「上越市内公共交通利用ガイド」には、運行時刻や路線図、路線番号が記載されています。各路線バスには路線番号が表示されており、番号を見れば、乗りたいバスが一目でわかります。



くびき野バス 路線番号 22	頸北観光バス 路線番号 81	(あやめバス) 路線番号 25	頸南バス 路線番号 74	東頸バス 路線番号 60
-----------------------------	-----------------------------	------------------------------	---------------------------	---------------------------



東頸バス
60 安塚線

路線バス

おでかけフリー定期券

上越市内の路線バスが乗り放題! 選べる3つの期間!
運賃を気にせず何度でも乗降できる! 週に何度もおでかけする方におすすめです!

対象者: **満70歳以上の方**又は
運転免許証を返納
された方
(運転経歴証明書を提示された方)

※高速バス、頸南バス株が運行する「妙高高原ライナー」、
「笹ヶ峰直行バス」、市営バスは利用できません。

種類	販売価格
1か月券	5,000円(1日当たり約167円)
3か月券	12,500円(1日当たり約139円)
6か月券	20,000円(1日当たり約110円)

販売箇所: 高田駅前案内所、直江津駅前案内所、イトーヨーカドー前案内所、頸北観光バス(株)、
頸南バス(株)、東頸バス(株)のバス営業所

1日フリー乗車券

上越市内の路線バスが1日乗り放題!

販売価格: **おとな 1,000円**
子ども 500円

※高速バス、頸南バス株が運行する「妙高高原ライナー」、
「笹ヶ峰直行バス」、市営バスは利用できません。

販売箇所: 高田駅前案内所、直江津駅前案内所、イトーヨーカドー前案内所、頸北観光バス(株)、
頸南バス(株)、東頸バス(株)のバス営業所、バス車内でも販売中※停車時に運転手にお申し出ください。



利用方法
ご利用日の年・月・日をコインなどで
1か所ずつ削り取ってください。
(例: 2018年10月25日の場合)
乗車時に、運転手に年・月・日がすべ
て見えるようにご提示ください。

ご注意
年・月・日のいずれか2か所以上削
ると無効になります。誤って、前の日を
削り取った場合も無効となります。

ちょこっと Q&A

Q どんなふうに使えばお得なの?

A こんなふうに使えばお得です!
①週に何度も趣味や買い物でお出かけする人…「おでかけフリー定期券*1」を使う
②月に2・3回、買い物や病院・役所など、まとめて用事をしたい人…「1日フリー乗車券」を使う
ここに挙げた使い方はほんの一例です。自分なりのお得な使い方を探してみてください!
※1: 満70歳以上の方または運転免許証を返納された方(運転経歴証明書を提示された方)が購入できます。

Q バスの運賃は高いの?

A マイカーを維持するには1日当たり約865円*2かかります。マイカーは乗らなくてもお金がかかりますが、公共交通は乗った分の運賃を支払うだけです。バスの運行時間や、バス停から歩かなければいけないなどの制約はありますが、少しずつバスの利用を増やしてみたいかですか。
※2: 維持費は軽自動車保有(車両購入費160万円、10年償却)、1週間の平均移動距離70kmを想定。
WEBサイト「さがくらしの足(佐賀県地域交流部 新幹線・地域交通課)」内の「コスト比較シミュレーター」により試算。
(URL: <https://www.saga-kurasi-asi.jp/main/>)



回数券

サンシャイン回数券【20%引!】

☆9時~16時の間に降車される場合に有効! ☆日中の買い物や通院にぴったり!

販売価格: **1,000円、2,000円**の2種類

このほか、普通回数券(9%引)、セット式回数券(9%引)も販売しています。また、サンシャイン回数券とセット式回数券(1,000円券と2,000円)はバス車内でも購入可能です。



その他: 頸城自動車グループでは「身体障害者手帳」や「療育手帳」、「児童福祉法に係る施設長発行の割引証明書」、「精神障害者保健福祉手帳(顔写真が添付されているものに限る)」をお持ちの方に対して「運賃」の割引があります。また、県内高速バスで利用可能な高速バス共通カードもあります。詳しくは、下記問合せ先へご確認ください。

問合せ先: 頸城自動車(株)バス営業所 ☎025-543-3178(平日・休日 8:30~18:00)

タクシー

① 運転免許返納割引

☆上越市ハイヤー協会社会貢献事業

10%割引
他割引と併用不可

対象者: **運転免許返納者**

利用方法: ご乗車の際に、「運転経歴証明書」を運転手にご提示ください。
※「運転経歴証明書」は、お住まいの地域を管轄する警察署または運転免許センターで申請することができます。

② 高齢者割引

☆上越市ハイヤー協会社会貢献事業

10%割引
他割引と併用不可

対象者: **75歳以上の市民**

※各事業者で、順次、対象年齢を75歳以上に引き上げています。詳しくは、各事業者にお問い合わせください。

利用方法: ご乗車の際に、「後期高齢者医療被保険者証」など年齢を確認できる証明証を運転手にご提示ください。

①② 市内割引 実施事業者

アイエムタクシー(株) ☎025-523-3188
頸城ハイヤー(株)(高田営業所) ☎025-524-2525
(直江津営業所) ☎025-543-3488
(柿崎出張所) ☎025-536-2218

南浦川原タクシー ☎025-599-2311
高田合同タクシー ☎025-524-5050
直江津タクシー(株)(本社営業所) ☎025-543-4545
(大淵営業所) ☎025-543-3939

③ 障害者割引

10%割引
他割引と併用不可

対象者: **身体に障害のある方、知的障害のある方で次の手帳をお持ちの方**

利用方法: ご乗車の際に、「身体障害者手帳」又は「療育手帳」を運転手にご提示ください。

実施事業者: **市内タクシー事業者**

※詳しくは各タクシー事業者へお問い合わせください。